

kami hachi mirai design ver.0.5 2021/10/31

# kami hachi mirai design

kamihachi miraidesign

ver.0.5 2021/10/31



さあ、カミハチからはじめよう  
**Let's get started!!**

## Our message

紙屋町と八丁堀は広島を代表する繁華街です。この2つの街は、戦後長らく切磋琢磨しながら、広島を都心を鮮やかに彩ってきました。2045年には広島は被爆100年を迎えます。また、新たなウイルスの出現により、都市を取り巻く社会、経済の在り方も大きく変化しています。そんななかで、国際平和文化都市という大きなお題目を与えられたこの都市は、どのようにあることが求められているのでしょうか。わたしたちは広島だけでなく、日本、そして世界を見据えながら、どのように持続可能な都市をつくっていくか、そのような大きな視座に立ち、街づくりを進めていく必要があると考えています。一方で、2021年現在に視線をもどすと、戦後、幾多の苦難を乗り越えながら作り上げてきた街をアップデートする必要がある時期を迎えており、広島都心において、大きな再開発プロジェクトがいくつも動きだそうとしています。しかし、それらは決して足並みを共にはしていません。これらにしっかりとした横串を通し、ビッグビジョンをもとに新たな都心づくりに向かっていくことが、足元における喫緊のミッションだと考えます。こうした認識のもと、2017年以降、紙屋町と八丁堀はともに寄り添い、街づくりに取り組み始めました。2019年3月にはエリアマネジメントの実践に向けた勉強会を立ち上げ、「人間が中心となる都心空間をつくっていくこと」を大きな方向性として共有しました。2020年、2021年と社会実験カミハチキテルを実施し、そのような方向性を現実の都市空間に表出させ、より多くの皆さんが参加する動きへと大きく転換しようとしています。そして、2021年10月、わたしたちは、関係するすべての人がわくわくするようなビジョンをつくりあげました。

カミとハチがひとつになって、都心の魅力づくりとして、大きな街、大きな価値、大きな可能性を体現するために、街に関わるすべての人、事業者、地権者、活動する人、来街者たちが一堂に集い、たくさんの対話を重ねながらつくったこのカミハチミライデザインを道標として、わたしたちは共創的でありながら、独創的かつ、持続的な街づくりを遂行することをここに宣言します。

2021年10月31日  
カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-

代表 若狭 利康

## Table of Contents

<b>Chapter1</b>	<b>カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA- とは？</b>	
	Prologue：なぜカミハチなのか	4
	カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA- 組織概要	6
	カミハチキテルのあゆみ	7
<b>Chapter2</b>	<b>カミハチミライデザイン 基本的な考え方</b>	
	カミハチミライデザイン 4つの役割	8
	カミハチミライデザイン 全体構成	9
	カミハチミライデザイン 位置づけ	10
	カミハチミライデザイン 協議のしくみ	11
	カミハチミライデザイン 更新体制	12
	カミハチミライデザイン 対象エリアと周辺との関係性	13
<b>Chapter3</b>	<b>カミハチミライデザイン 本編</b>	
	カミハチの将来像	16
	4つの戦略とそれを支える4つの分野	18
	4つの戦略と戦術、メニュー	
	1. Innovation hub 戦略	22
	2. HIROSHIMA Life style 戦略	38
	3. Co-creation 戦略	54
	4. Sustainability 戦略	66
<b>Chapter4</b>	<b>リーディングプロジェクト一覧</b>	72
<b>Appendix</b>	<b>カミハチキテル ロードマップ</b>	74
<b>Epilogue</b>		78

## プロローグ：なぜカミハチなのか？

### Prologue : Why do we work in KAMIHACHI?

わたしたちは、みんなで、この街のミライの姿を描ききってみることにしました。とりわけ、ビジョンやコンセプトを含む、“デザイン”という形にまとめてみることにしました。「デザインとは、現在の状態を、より好ましいものに変えるべく行為の道筋を考案すること」。これはノーベル賞経営学者のハーバート・サイモンの言葉です（サイモン、1969）

また、認知科学では、デザインすることを人間のあり方の一つと読み解いて、こう述べています。人は「与えられた世界を生きるのではなく、自分たちのための意味や役割を与え、世界を任意に操作可能にしようとする」、と（有元・岡部、2008）。イノベーションの文脈で語られた言説にも至言があります。「デザインは意味を刷新し、意味は市場での差異をもたらす。モノに意味を与えることでイノベーションが興る。デザインは、それによってビジョンを提案して、ニーズを先回りする。人はほとんどの場合、現物を見せない限り自分が何を望んでいるのかわからない」（ベルガンティ、2016）。

だからこそ、コミュニティデザイン（1980年代の住民参加の公共空間設計のこと。転じて、地域住民が自らの活動なども設計すること）も、ソーシャルデザイン（社会課題を契機に、社会制度や公共インフラを再考し再構築すること。市民を動員して解決に向かうとする活動そのものも含む）も、複雑化する現代社会で、特定分野の専門家では解決策が見いだせないことに適応するために、「行為の道筋を」「自分たちのために」自らデザインし、「市場で」「意味を刷新」しようとしてきました。デザイン活動の軸に、“**集合知**”としての意味あいが含まれているゆえんです。

かつての社会的合意形成が、進展のために利害関係者への説得に力点が置かれていた同意要求的な活動であったことに比して、複雑で不確かな社会状況の現在では、「集合知」を活用するまちづくりワークショップや社会構成主義の浸透もあり、合意形成を「異質な意見の関係づけによる調和の生成」と捉える定義が提唱されたり、「エディトリアルリティ<編集された現実>」という言葉が生まれたりしています（今田、2011）。

カミハチミライデザインは、「編集された現実」としての、このエリアのみなさんのミライに関する思考の集大成、集合知で、自らをデザインしていく“セルフな都心デザイン活動”のスタートアップでもあります。



広島城蔵

明治期の広島は、旧西国街道に並行する広島城のお堀、八丁堀をそのまま大通りにするという、かっこうの目抜きを誕生させておきながら、川的生活文化として河川交通も残しつつ、急速な発展をし、また昭和期のモータリゼーションの渦中にあっても、路面電車と共存するという独特の都心を形成してきました。“均衡ある発展”の都市間競争にあっては、“無限の拡張”を夢見て、開発の主戦場が郊外へと伸び、やがて職と住を分離する、宅地開発のグレート戦略が取られるようになりました。活力ある多くの都市と同じように、ここ広島でも、基幹大学や空港の郊外移転が進み、まちは拡張を果たしました。

そんな今、都心には**新たな役割**が与えられつつあります。職住分離の通勤都市建設、住む人の充足という役割から、広域経済圏におけるリーダーシップある都市がもつべき“都市の顔”を表象するという役割です。都心は、ただ都市の経済活動の集積地であるだけでなく、すなわち利便性をもって住民の生活上の充足という都市機能だけを果たすのではなく、広域経済圏（リージョン）全体（たとえば、中国地方）のブランドを左右する“象徴”として、躍動することが求められています。

わたしたち都心自身が「どうなりたいか」以上に、「どう役目を果たしてくれるのか」に応える必要があります。都心再生は、単にドーナツ化した間隙を用いてコンパクトシティという利便性を満たすことにとどまらない、躍動性が求められているというわけです。

紙屋町と八丁堀はともに広島を代表する都心です。この2つの街は、戦後長らく“切磋琢磨”しながら、広島の都市経済を象徴してきました。経済統計上は2つに分けて計測されているものの、実態としては回遊する来街者は多く、昨今のビッグデータ解析からも、相互に関わりあって支えあっていることがわかるようになってきました。まちづくりの視点からも、独立した個々の活動がもたらすものより、“共創”することによって生み出される価値の増大のほうが効果が大きいことが、多数の他都市の事例によっても報告されています。

「まちづくり」は、サンフランシスコ講和条約の時代まで遡る伝統的な用語ですが、その第1世代が、行政主導と新しい生活の確立を目的としていたことに比して、1980年代の第2世代は、住民参加、都市計画、1990年代の第3世代は、市民共同、市民による活動づくりをテーマにしてきました（竹内、2017）。なぞらえるなら、行政、住民、市民と主役が交代してきた現在は、しばしば、アクター、プレイヤー、という言葉が用いられています。これをまちづくり第4世代と呼ぶのであれば、それは、21世紀の都心の潮流をなしている「エリアマネジメント」もまた、この文脈に収まるのかもしれませんが。まちづくりは、住民、市民に加えて、さまざまなアクターがさまざまなステーク（立場や利害）を媒介し活用しながら、ネットワークとしてその活動の容態をつくりあげる、オープン性の高いものを主流としつつあるようです。

**エリアマネジメント**を、国土交通省は「地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み」と定義し、そ



れを推奨しています。わたしたちもまた「エリアマネジメント」活動の一環として、現実を主体的に、地域の環境や価値を維持・向上させるデザイン活動を行ってきたところです。とくに、ミライデザイン活動の苗床となった、2019年からの紙屋町八丁堀エリアマネジメント実践勉強会を母体とするさまざまな活動は、カミハチの協働的な活動でこそ、現実をデザインしていくことができると企図したものでした。「行為の道筋を」「ニーズを先回りして」「現物を見せ」てみた二度の**社会実験**や、**ワークショップ**形式で取り組んだビジョン分科会、ストリートを会場とする実験的な**市民フォーラム**を含む4度のカミハチフォーラムなど、果敢に“現実の編集”に取り組んできました。これらに貫く“**アクション・ファースト**”、“**アクション・ベースド・ビジョン**”の志向は、成果も結果も大切なことであると同時に、そのエリアマネジメントの「プロセスを味わうこと」も重要であるとして一意に規範化してきたところでした。この教えをいただいた、全国エリアマネジメントネットワーク副会長、保井美樹先生の急逝は残念でありませんが、ご冥福をお祈りしつつ、この教えを必ず守っていききたいと思います。

著名な紛争解決ファシリテーター、アダム・カヘンはこう述べています。「わたしたちが**解決策の一部でないなら、それは問題の一部のほうだ**ということである。しかし、**問題の一部でなければ、真の解決策の一部にはなることはできない**」（カヘン、2016）。

わたしたちこそがカミハチのエリアに問題をもたらしているのだ、と自己理解しつつ、しかし、だからこそ解決策の一部になることができるのだ、と胸を張って、この活動のはじまりをつくるミライデザインを、社会という俎上に上げたいと思います。

## カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA- 組織概要

### Organization overview

#### 参画組織一覧

##### Participating organizations

広島市中央部商店街振興組合連合会	中国電力ネットワーク株式会社	明治安田生命保険相互会社
株式会社朝日ビルディング	野村証券株式会社	株式会社もみじ銀行
穴吹興産株式会社	株式会社東急ハンズ	広島県
NTT 都市開発株式会社	株式会社パルコ	広島市
大旗連合建築設計株式会社	株式会社広島銀行	独立行政法人都市再生機構
株式会社サンフレッチェ広島	一般社団法人広島県タクシー協会	国土交通省中国地方整備局
NPO 法人セトラひろしま	広島電鉄株式会社	広島修道大学
株式会社そごう・西武	株式会社広島バスセンター	山口大学
損害保険ジャパン株式会社	株式会社広島三越	一般社団法人地域価値共創センター(事務局)
大昌工芸株式会社	株式会社福屋	
大成建設株式会社	プラス株式会社	
株式会社竹中工務店	三菱地所株式会社	

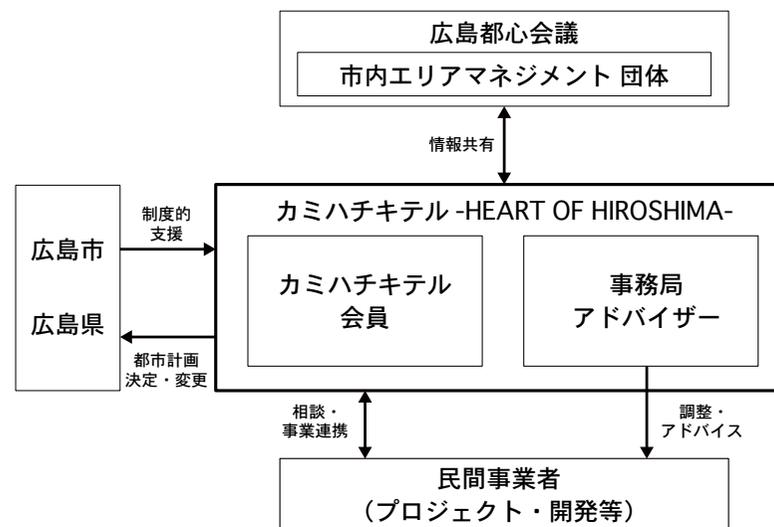
以上 33 団体  
2021 年 10 月時点

#### 推進体制イメージ

##### Promotion system image

カミハチミライデザインは、民間主導の官民連携体制により推進していきます。

カミハチミライデザインは、「カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-」が主体となり、行政や民間事業者、関係団体（広島都心会議等）と連携を取りながら、事業に取り組んでいくこととします。



## カミハチキテルのあゆみ

### KAMIHACHIKITERU-HEART OF HIROSHIMA- History

2017 年 7 月	紙屋町八丁堀合同エリアマネジメント勉強会【全 3 回実施】
8 月	都市・地域デザインカンファレンス中国 2017 開催
2018 年 2 月	エリマネラボひろしま【全 13 回実施】
5 月	全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018 開催
10 月	紙屋町・八丁堀地区が都市再生緊急整備地域指定
2019 年 3 月	紙屋町八丁堀エリアマネジメント実践勉強会【月 1,2 回程度開催：34 回実施済】
8 月	広島都心パブリックミーティング開催
12 月	紙屋町八丁堀公共空間活用社会実験実行委員会設置
2020 年 3 月	カミハチキテル -URBAN TRANSIT BAY- 実施
5 月	カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA- 設立
8 月	カミハチキテル定例会【月 1 回程度開催：13 回実施済】
	ビジョン分科会【4 回実施済】
	greenbird 広島【11 回実施済】
9 月	フォーラム分科会【6 回実施済】
	若手分科会【3 回実施済】
	紙屋町・八丁堀地区が広島駅周辺地区と統合され、「広島都心地域」として特定都市再生緊急整備地域に指定
10 月	カミハチフォーラム【第 1 回】
12 月	モビリティ分科会【2 回実施済】
	社会実験分科会【2 回実施済】
	カミハチフォーラム【第 2 回】
2021 年 1 月	カミハチキテル -MOTOMACHI CRED URBAN TERRACE- 実施
3 月	カミハチフォーラム【第 3 回】
7 月	カミハチフォーラム【第 4 回】
8 月	カミハチマチナカフォーラム【第 1 回】
10 月	カミハチフォーラム【第 5 回】
	カミハチミライデザイン ver.0.5 公開

2021 年 10 月時点



## カミハチミライデザイン 4つの役割

### Four Roles of KAMIHACHI MIRAI DESIGN

カミハチミライデザインが示すのは、カミハチの未来を見据えた皆さんのステークホルダーの方々と議論を重ねてきた成果です。これらはこの先、みなさんと事業を創造し推進していく上での、道標となり、意識を高め合うものとなり、見直しのプロセスを経て成果を評価し、カミハチのアイデンティティを外部へ発信していくツールとして活用していきます。

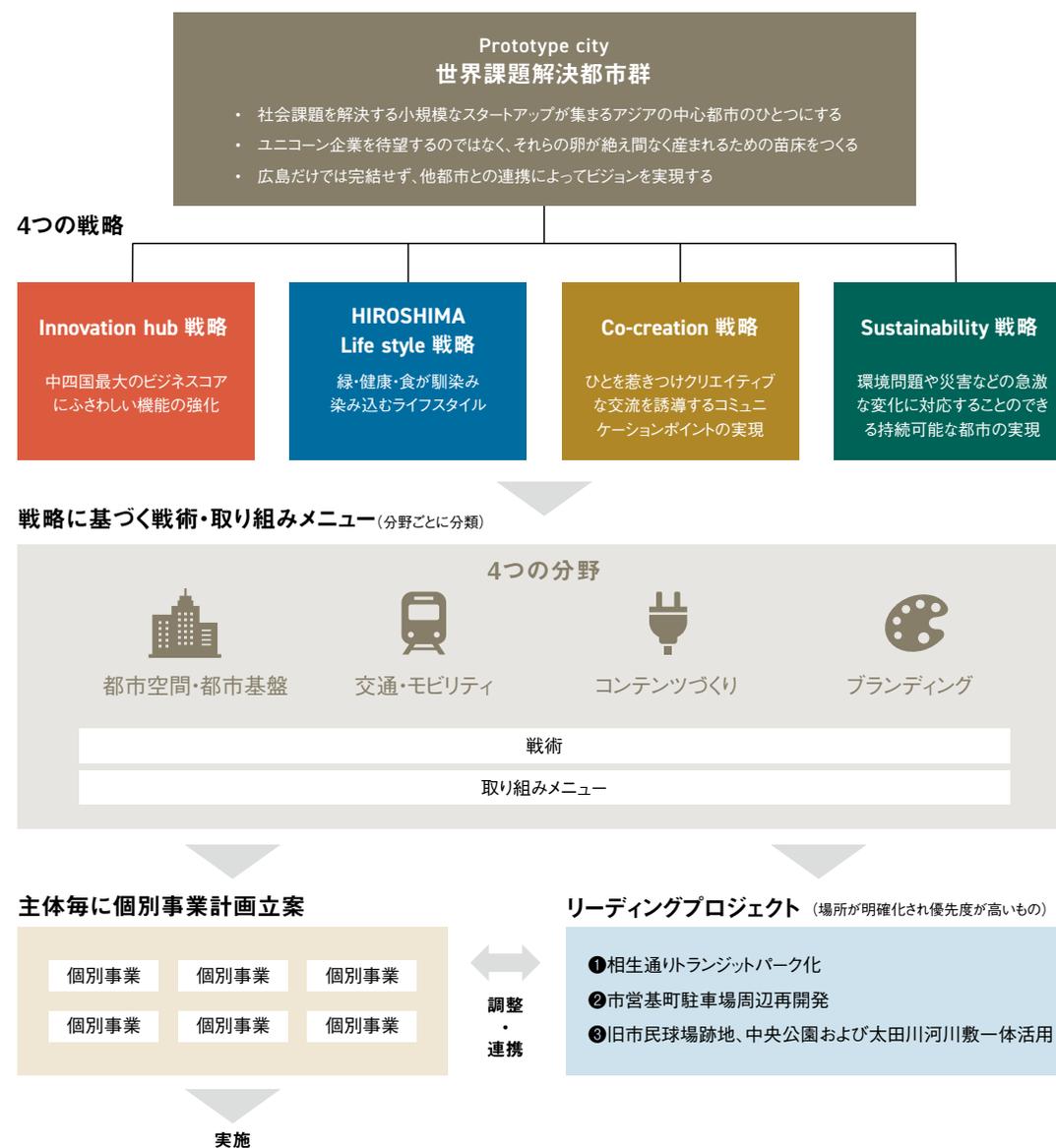


## カミハチミライデザイン 全体構成

### Four Roles of KAMIHACHI MIRAI DESIGN

カミハチミライデザインの全体構成は以下の図で示すことができます。被爆100年を迎える2045年をターゲットイヤーに、広島将来像として prototypicity 世界課題解決都市群を掲げます。この将来像を達成するために、4つの戦略を立て、この戦略を4つの分野に分け、戦術、取り組みメニューを設定しています。

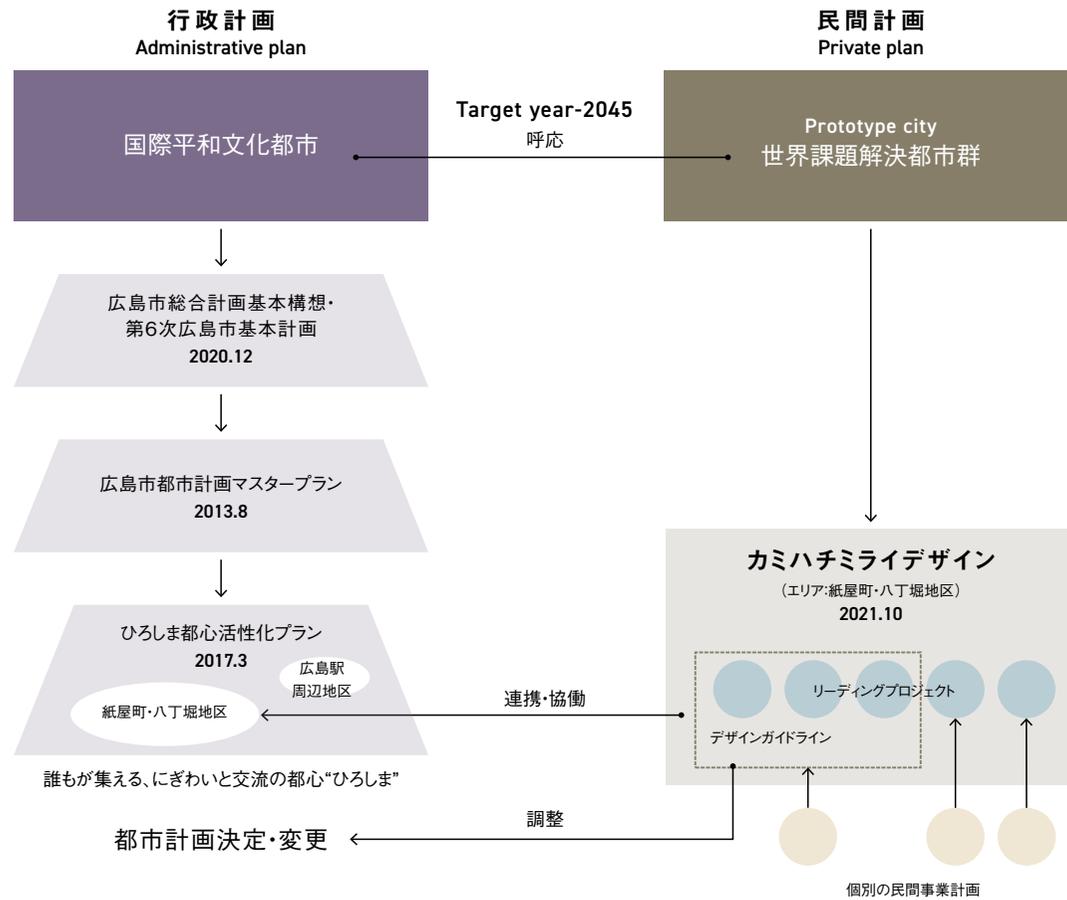
#### 将来像 Next Hiroshima identity Target year : 2045



## カミハチミライデザイン 位置づけ

### Position in administrative planning

カミハチミライデザインは既存の行政計画と以下のような関係にあります。



### カミハチミライデザインは、民間による民間のための計画です

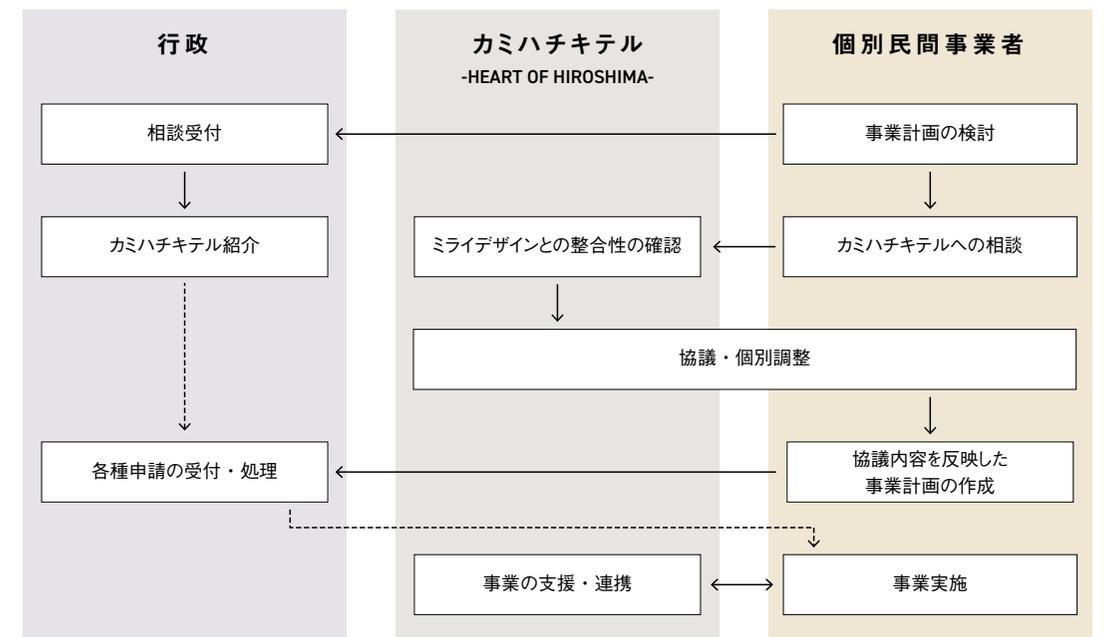
Planning by the private sector for the private sector

カミハチミライデザインは、カミハチエリアに関係する、すべての人、事業者、地権者、活動する人、来街者が一つの方向を目指し実行に移していくための民間計画です。第6次広島市基本計画の中で広島市が掲げている「国際平和文化都市」に呼応し、民間側として取り組んでいく方向性として「Prototype city 世界課題解決都市群」を掲げています。様々な行政計画とは、連携・協働し互いに影響しあう関係性を持ち、デザインガイドラインの内容に基づき、必要に応じて都市計画決定・変更に向けた調整なども行っていきます。

## カミハチミライデザイン 協議のしくみ

### Consultation mechanism

カミハチミライデザインは以下の図のようなかたちで活用することを想定しています。



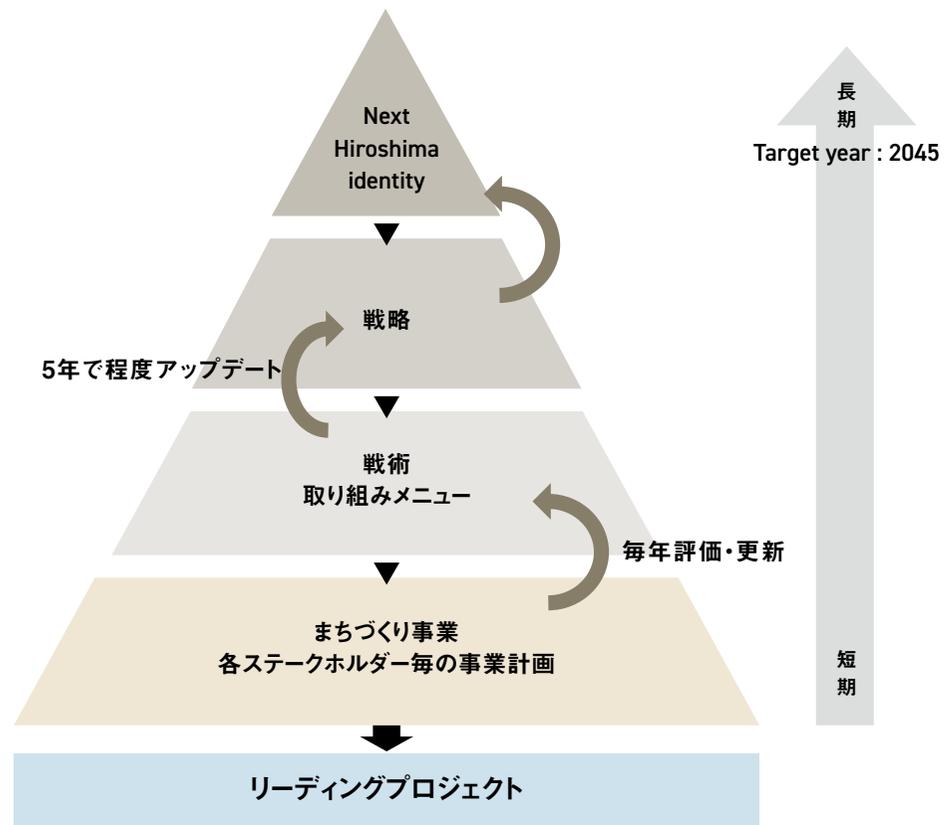
## カミハチミライデザイン 更新体制

### Update system

毎年の事業評価・更新を経て、戦術・戦略・将来像も常にアップデートします

We update tactics, strategy and even philosophy at any time

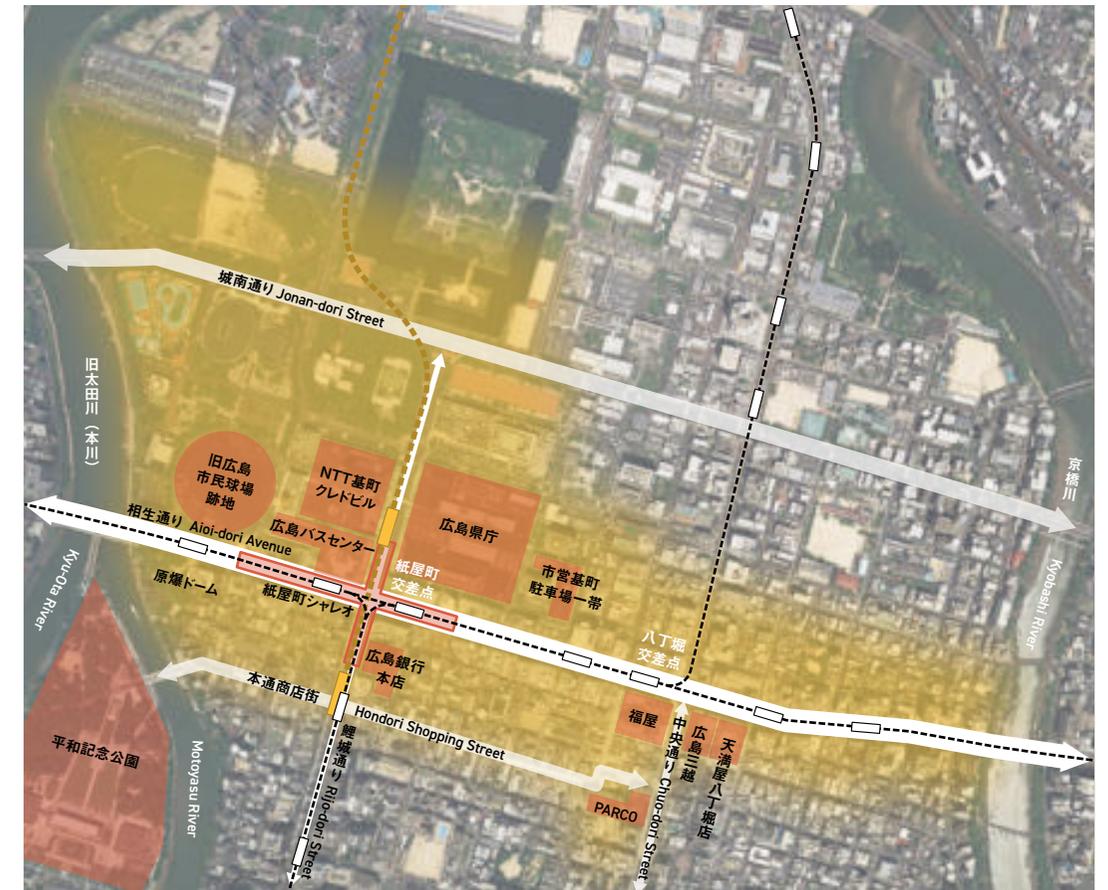
カミハチミライデザインは、ゴールを設定するものではなく、常にはじまりをデザインするものであり続けます。毎年、社会情勢によって変化する都市に合わせて、戦術、取り組みメニューの評価・更新を行い、戦略についても5年程度でアップデートすることを検討しています。



## カミハチミライデザイン 対象エリア

### Target area

西を旧太田川（本川）、東を京橋川に挟まれ、相生通りを中心としたエリアを「紙屋町・八丁堀エリア（カミハチエリア）」として、カミハチミライデザインの対象エリアとして設定します。また、これまで明確なビジョンが存在しなかった相生通りとその沿道エリア内を、属性や特色に応じて4つのゾーンに分けて将来の方向性を示します。（p.15 参照）

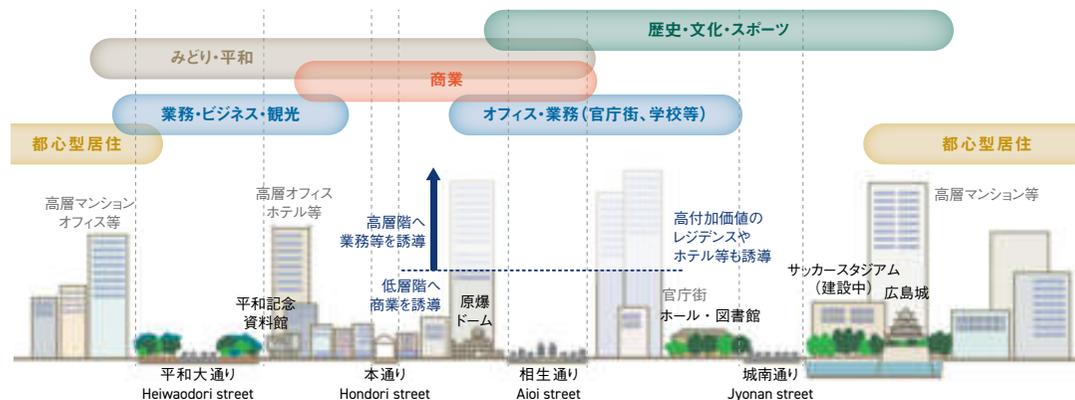


国土地理院撮影の空中写真（2018年撮影）を加工して作成

# カミハチミライデザイン 周辺エリアとの関係性

## Analysis of Surrounding Area

相生通りは、片側3車線、両側歩道、路面電車が相互交通する通りであり、広島都心を東西に貫くメインストリートです。ミライデザインが対象とする旧太田川（本川）から京橋川までは全長1.5kmとなっており、沿道に集積している建物やエリアの特性は東西でグラデーションがあります。加えて、相生通りを挟んで南北に特性が異なるアシンメトリーなエリアが広がるフリンジでもあり、さまざまな要素が融合したストリートでもあります。



# 相生通り沿道のセグメンテーション

## Area segmentation along Aioi-dori Avenue

対象エリアである、旧太田川（本川）と京橋川に挟まれた相生通りを、エリアの特性や将来の可能性をふまえ、4つのエリアに分けて方向性を示します。

Based on the characteristics and future possibilities, Aioi-dori Avenue is divided into four areas to provide direction.



国土地理院撮影の空中写真（2018年撮影）を加工して作成

### HIROSHIMA Center [交通結節、水と緑のタッチポイント]

#### 【エリア特性】

- ・バスセンター、広電路面電車、アストラムラインなどの交通の結節点となっている。
- ・観光の顔となる平和記念公園、おりづるタワーが存在している。
- ・平和記念公園、本川、旧市民球場跡地など、水と緑のタッチポイントとなっている。

#### 【まちづくりの方向性】

- ・多様な公共交通が交わる、柔軟なモビリティハブを創出します。(水上バス、路面電車、バスなど)
- ・世界と広島県域を繋ぐ、Glocal(グローバル×ローカル)のショーケースとなるような情報発信拠点を目指します。
- ・タッチポイントとしての広い待合空間を確保します。
- ・備蓄倉庫など自然災害などのモード変化に対応する公園設備を確保します。
- ・広い街区が多いことから、ヒューマンスケールを体現できる空間形成を徹底します。

### Makers-HQ Zone [ビジネス中心・支店経済の拠点]

#### 【エリア特性】

- ・比較的大規模なオフィスビルが集積している。
- ・紙屋町交差点は、広島市における都心の中でも核としての交通結節機能を担っている。
- ・低層部には金融機関や紳士服など限られたセグメントマーケティングの用途が多い。

#### 【まちづくりの方向性】

- ・建て替えに合わせ、南側の本通り方面とつなぐ路地形成を促進します。
- ・建替時の規制緩和や税制優遇、シティブロモーションのパッケージ化で投資を促していきます。
- ・働く場としてのワーカーのまちから、仕事が終わった後や週末でも24時間いつでも楽しめる生活のまちとしての空間づくりを促していきます。
- ・コンベンション機能として、小さなMICE機能をエリアに点在させていきます。(普段はカフェレストラン、ホールとして使用し、モード変化可能なスペースとします。)
- ・営業車両のシェアリングやビジネスストリップの受け入れ拠点など、ビジネスのタッチポイントとしての機能を誘導します。

### Interactive Zone [ヒト、モノ、コトが交わるゾーン]

#### 【エリア特性】

- ・商業の中心的機能を担っている。
- ・広島で最も親しまれている2つの伝統的な祭事【とうかさ・えびす講】の舞台となっている。
- ・歴史背景のある地域資源(福屋、胡子神社、西国街道、旧電車通り、賀茂鶴オアシス)が豊富。

#### 【まちづくりの方向性】

- ・インターセクション(交差点)に対して、建物の開口部(低層1階〜3階)を開いていきます。
- ・通行量に対して十分な、滞留を促す質の高いパブリックスペースを確保します。(祭り時にも対応すべく、道路空間、民地空間をポータレスに活用できる設えとします。)
- ・スーパーブロック(八丁堀交差点南街区)においては、街区内部の分棟や貫通通路を整備することで、街区内部に人の流れを呼び込み、街区内外の不動産価値を高めます。

### Co-being neighborhood [水辺・起業・はたらくと住まうの融合]

#### 【エリア特性】

- ・カミハチエリアの東端に位置するエリアで、京橋川の水辺空間に近接しており、夏季の気温も比較的低い。
- ・カミハチエリア及び流川地区のフリンジに位置し、単身向け住居や中〜低価格帯のホテルが多い。
- ・敷地面積が小さい敷地比較的多い。
- ・混合用途の建物が多く賃料水準も低い。(A、準Sクラスビルも存在している。)

#### 【まちづくりの方向性】

- ・建替えや共同化などの再開発による更新だけでなく、リノベーション等による既存建物を活かした更新も促進していきます。(デザイナーズオフィス化、通信インフラ強化により、アフワードブル・オフィスの供給)
- ・低価格な賃料相場を活かしたスタートアップ向けの coworkingスペースの整備を促進します。(ex:Wework)
- ・建替えにより中高層化した建物においては、高層フロアにレジデンスあるいはホテルを誘導し、リバー&ベイサイドビューの高付加価値の都心居住、滞在が可能な用途を誘導します。
- ・カミハチエリアと広島駅を結ぶタッチダウンポイントとして、デザイン性の高い建物を集積させ重要なビスタ(象徴的な景観)を形成します。
- ・地場大手企業(マツダ、もみじ銀行、広島銀行)が一定集積していることを活かした、社会的投資(SIB)などを活用したエリア開発を目指します。
- ・都市景観の多様性を誘発するため、エリアの景観価値向上に貢献する独自の項目を評価ポイントとして加算する、デザインコード等を検討していきます。(ex:銀座デザイン協議会)

# カミハチの将来像

Future Vision of KAMIHACHI



Next Hiroshima identity is ...

Target year 2045

## Prototype City

### 世界課題解決都市群

わたしたちの目標は、広島都心のカミハチエリアを「世界のさまざまな社会課題を解決し、新たな文化を創造する小規模なスタートアップが集まる”アジアの中心都市”のひとつ」に成長させることです。

広島都心の目指すところには、ユニコーン企業を待望するではなく、市民アントレプレナーの種が絶え間なく育つ、開放的で寛容な苗床をつくるのが重要だと考えています。

そのためには、広島都心だけでは完結せず、隣接するエリアから海外における中核都市まで、様々な世界課題解決都市との連携によってビジョンが実現され、世界に誇る”Prototype city”を実現します。

What is "Prototype city"??

Prototype : ①基本型・原型。②試作品。③〔言〕ある意味的・言語的なカテゴリに属するもののうち、典型的・中心的と考えられるもの。(広辞苑)

## カミハチミライデザイン 4つの戦略

### Four strategies

将来像の実現に向けて、以下の4つの戦略を推進していきます。

We are on the basis of four strategies for future design of the city center.



#### Innovation hub 戦略



中四国最大のビジネスコアにふさわしい機能の強化を図ります。



#### HIROSHIMA Life style 戦略



緑・健康・食が馴染み、染み込むライフスタイルを創造します。



#### Co-creation 戦略



ひとを惹きつけクリエイティブな交流を誘発するコミュニケーションポイントの創出など多様な主体による共創社会を実現します。



#### Sustainability 戦略



気候変動による環境悪化や災害などの不確実な変化に適応し、気候変動の緩和にも貢献することのできる持続可能な都市を実現します。

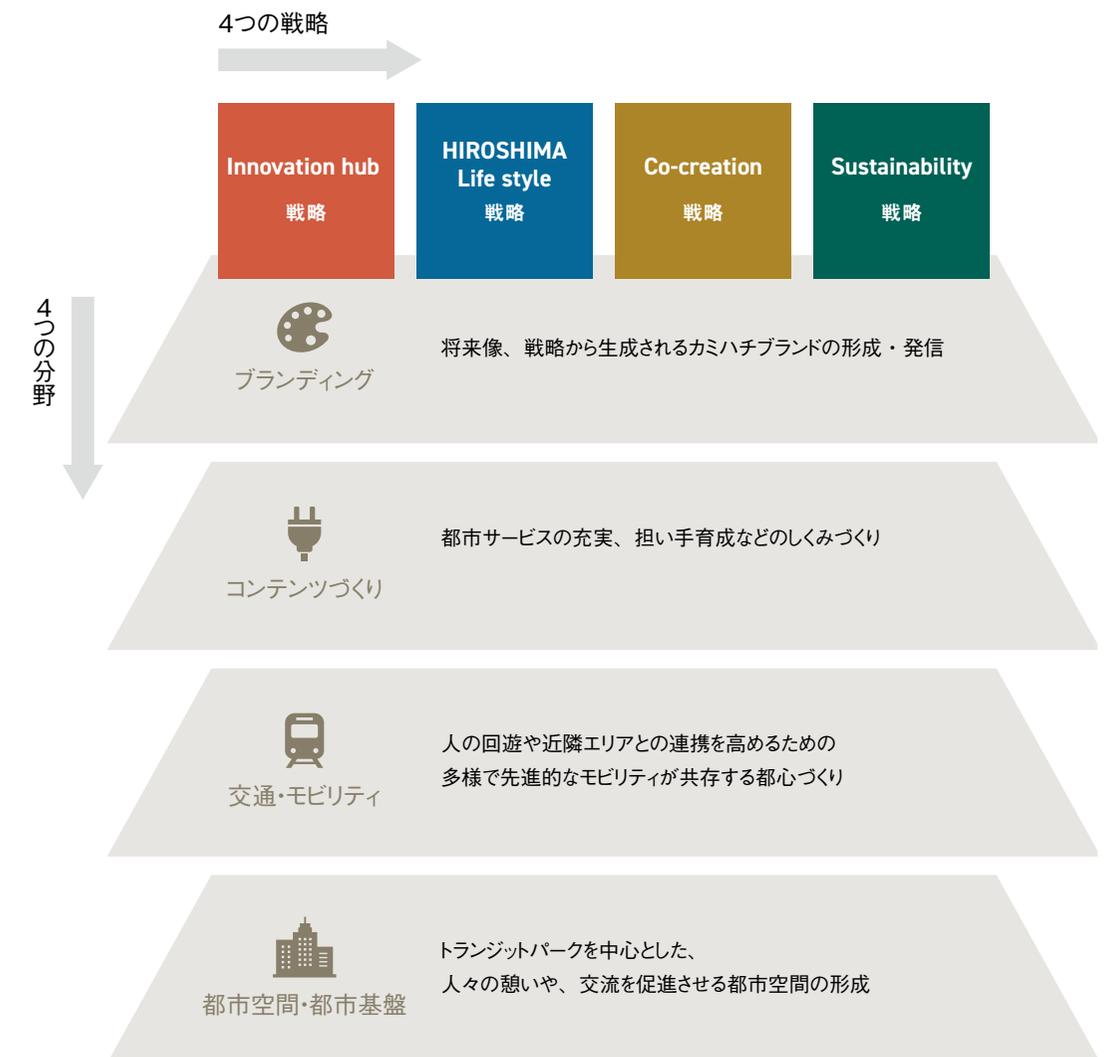
## カミハチミライデザイン 戦略を支える4つの分野

### Four fields of strategies

戦略に基づき、4つの分野で戦術を進めます。

Each four strategies have four tactics related to branding, contents, transportation/mobility and urban space/infrastructure.

戦略を推し進める上で、多様な分野にわたり総合的に取り組んでいくことが重要です。特に、「都市空間・都市基盤」、「交通・モビリティ」、「コンテンツづくり」、「ブランディング」は、カミハチミライデザインの戦術において重要な分野と位置づけ、各分野の取り組みメニューを推進していきます。



# カミハチミライデザイン 4つの分野概要

## Over view of four fields of strategy

### 都市空間・都市基盤 Urban Space/Infrastructure

相生通りは、広島駅と紙屋町八丁堀地区を結ぶメインストリートであり、これからの広島のアイデンティティを標榜する上で、重要な軸としての役割を担っています。相生通りのコンセプトをこれまでの「車を捌くための空間」から「人のための空間」へとシフトし、道路空間だけでなく、沿道民地との一体的な多目的運用を官民連携で充実・強化し、世界に類を見ない公園のようなストリート「トランジットパーク」を目指します。

作成：PLACE



### 交通・モビリティ Transportation/Mobility

カミハチエリアの中心に位置する相生通りは、広島市の広域ネットワークの中でも、近隣エリアとの連携を高め、都心を支えるトラフィックの背骨としての役割を担っていきます。

さらに幅員 40m の空間を活かし、歩行者や鉄道、路面電車、タクシー、車、バス、自転車、パーソナルモビリティ、水上交通など多様なモビリティが共存できる交通環境を形成していきます。



### コンテンツづくり Generating Contents

相生通りをはじめ、広島の都心空間は再生され、設えが大きく変化し、交通体系や都市サービスも変わっていきます。それに伴い、一定エリアごとに使う人の属性特性も、都心空間の使い方も多様となり、エリアの価値が高まっていきます。

カミハチミライデザインでは、空間の変化だけでなく、再生された都心空間の使い方、都市空間を構成する人々の変化も提示するコンテンツリード型のビジョンを提示します。世界課題解決都市群としてのあり方をコンテンツ面でも示していきます。

左：WATG;<https://www.watg.com/green-block-flatiron-a-vision-for-a-new-new-york-city/>  
右下：photo by RIVER DO HOW



### ブランディング Branding

京橋川と元安川に囲まれた大きな中州の中心に位置するカミハチエリアには、中四国最大のビジネス・商業・文化拠点が集積しているだけでなく、リバーサイドや公園など豊かな自然環境にも恵まれています。職住近接により充実したワークライフバランスが実現できるほか、徒歩や自転車で移動しやすい地形により、街に集う人々による偶然の出会いや発見が起こりやすいこともカミハチエリアの魅力です。

また、世界中に知られる悲劇の記憶を継承した上で、気候変動など新たな社会課題を解決するプロトタイプシティとしての姿もブランドとして発信していきます。

下：photo by pop grumpy



# 1

## Innovation hub 戦略

中四国最大のビジネスコアにふさわしい機能の強化を図ります

We create Hiroshima Life style. To unite green, health and food, we focus on sports contents, public place in neighborhood, new mobility system, pedestrian/cycle network and control of vehicles passing through the city center.

## Contents



### 都市空間・都市基盤 Urban Space/Infrastructure

1. グランドレベルのデザイン誘導
2. 公共空間のプロトタイピング
3. 多様な働き方に対応できるワークスペースの提供
4. まちのコンベンション機能の強化
5. まちのオープンショールーム化
6. ビジネストラベラーが利用しやすい環境の整備



### 交通・モビリティ Transportation/Mobility

7. 路線バス・路面電車利便性の向上
8. トランジットセンターの形成
9. タクシーの利便性の向上
10. カミハチエリア循環モビリティの導入



### コンテンツづくり Generating Contents

11. イノベーターであふれる街カミハチを目指します

## 01. グランドレベルのデザイン誘導

建物低層部のデザイン誘導により、活力ある沿道空間を形成します。

### 取り組みMENU

- 周辺の街との沿道性に配慮した空間デザインの推進（ファサードデザイン、植栽・舗装など）
- 低層部への商業施設の積極的な誘致（商店以外を2階以上に誘導）
- セットフロントによる沿道空間への活力のにじみ出し

沿道性に配慮したファサードデザインの誘導イメージ



低層部への商業施設の積極的な誘致（東京 丸の内）



## 02. 公共空間のプロトタイピング

公共空間において空間試作（プロトタイピング）を繰り返すことで、検証・改善を行いビジネスコアにふさわしい都市空間をつくります。

### 取り組みMENU

- 仮設空間・実証実験から始まる都市空間づくり（実装を組み込んだ空間デザインプロセスの構築）
- 可変性のある多様な広場の活用  
（社会変動や地域のニーズ、時間帯、季節に対応しながら様々な使い方ができる空間整備）
- 公共空間の活用を最大化するストリートファニチャーの開発

公道を使って実施された社会実験カミハチキテル -URBAN TRANSIT BAY-



民地内空地（有効空地）を使って実施された社会実験カミハチキテル

-MOTOMACHI CRED URBAN TERRACE- ではベルギーの extremis 社の多様なファニチャーを使用したことで、多様なアクティビティが観察された



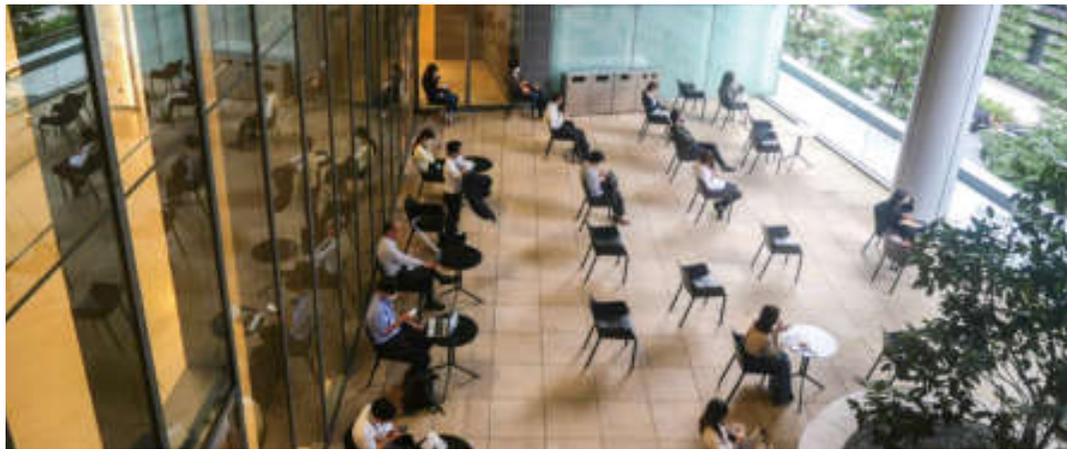
## 03. 多様な働き方に対応できるワークスペースの提供

カミハチエリアのワーカーが、自由に働き方のスタイルを選択することができる環境をつくります。

### 取り組みMENU

- 中小規模建物のリノベーションによる、アフォーダブルオフィスの充実  
(スタートアップの集積しやすいエリアを形成)
- エリア内ビジネスパーソンのニーズに応えるオフィスサポート機能の充実化  
(子育て支援機能、セキュリティ機能、SOHO 型住宅機能、AI・スマート機能)
- 法人利用にも対応できるコワーキングスペースの拡充
- ビジネスシーンでも利用できる大規模なカフェやビジネスパーソンがクイックリーにランチを食べられる  
フードコートなどの場づくり
- 屋外でもちょっとした合間の作業ができるよう、屋外ファニチャーの設置

ソーシャルディスタンスを配慮した半屋外ワークスペース (東京 虎ノ門)



セットバックによりキッチンカーの待機場所と半屋外ワークスペースを創出 (東京 品川)



## 04. まちのコンベンション機能の強化

まち全体をコンベンション機能と捉え、ビジネスチャンスを生み出す場を創出します。

### 取り組みMENU

- エキジションやミーティング、地域のレセプションに適した多様な規模の会場整備
- ビジネス街としての活力が低層部に溢れ出すファサードの整備 (オフィスエントランスや金融店舗の空中化)

街路のちょっとしたベンチがワーカーの  
ランチスペースやワークスペースになる (東京 丸の内)



イベントが開催されない時は  
ワーカーが自由に使える屋内広場 (東京 新宿)



低層階の開放感がストリートにしみ出している (東京 立川)



カミハチエリアのコンベンション機能を高めるひろぎん新本店ビルのホール (広島 紙屋町)



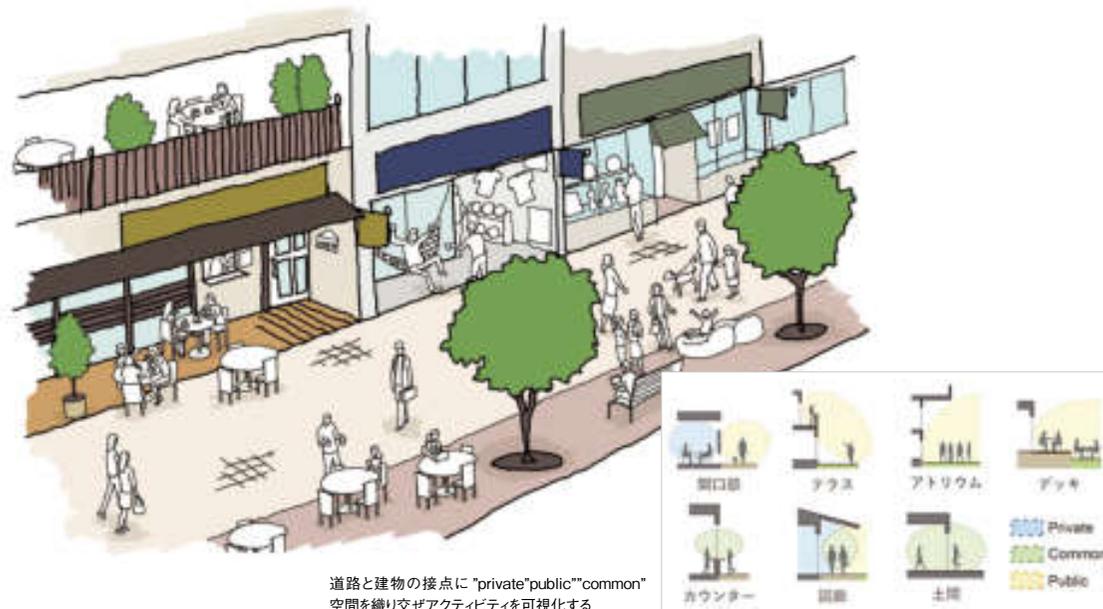
広島都心会議 提供

## 05. まちのオープンショールーム化

まち全体を企業 PR のための開かれたショールームとして活用します。

### 取り組みMENU

- 建物低層部や公共空間を、新たなビジネスチャンスや顧客との接点を生み出す企業の顔としてショールーム化
- 低層部のオープン化によるアクティビティの可視化（80%以上ガラス使用を目標に※アメリカポートランドのパール地区のメインストリートには低層部は60%以上ガラスを使用しオープンにすることがデザインガイドラインで規定されている）
- 透過性のある建物ファサード（ガラスボックス）の整備
- パークレットなどの公共空間を用いたまちなかショールームの実現



道路と建物の接点に "private" "public" "common" 空間を織り交ぜアクティビティを可視化する

景観に配慮しながら低層部をショールーム化している（オーストラリア シドニー）



公共空間を用いたまちなかショールームの実現（アメリカ シアトル）



## 06. ビジネストラベラーが利用しやすい環境の整備

ビジネスでカミハチを訪れた外部ワーカーが、また訪れたいと思うビジネス環境を整備します。

### 取り組みMENU

- まちなかビジネスセンター（OA 機器、5G などのインターネット通信環境、ミーティング・商談スペース）の創出
- まちなかワークスペースの実現（デスク、ベンチ、WIFI 環境、電源設備など）
- 民間敷地と道路空間の段差や傾斜を解消し、フラットでシームレスな歩行空間を拡げ、キャリーバッグでも歩きやすい環境づくりを推進
- 出張ビジネスパーソン向けサポートサービスの充実（ホテル・飛行機・新幹線情報・会議室予約・ネットプリントの連携など）
- 郊外に立地する飲食店舗の都心へのポップアップ出店（郊外部との都市間交流）

様々なサポートを行う新宿バスタのビジターセンター（東京 新宿）



民地内の空地に設けられたステップガーデンは、お昼休憩にはくつろぐ場所、屋外ワークスペースとして機能する（東京 虎ノ門）



## 07. 路線バス・路面電車利便性の向上

ビジネスパーソンの日々の移動を支える交通基盤として、  
利用しやすい路線バス・路面電車の環境を整備します。

### 取り組みMENU

- ・サイドリザベーション方式の導入によるシームレスな乗降空間の創出
- ・電停及びバス停の一体的な運用による複数交通モードでの乗換え利便性向上
- ・バス優先・専用レーンと公共交通優先システム(PTPS)の整備
- ・電停の段差解消とホーム拡幅による、安全性・定時性確保とバリアフリー化推進
- ・エキまちループなど広島駅・紙屋町間をノンストップで結ぶ路線拡大による超高頻度化(ビジネスライナー化)

LRTとバスの一体運用 (スウェーデン スtockホルム)



photo by clagmaster\_https://flic.kr/p/WrHZYp

歩道と電停の段差解消 (フランストゥール)



広島電鉄 提供

## 08. トランジットセンターの形成

公共交通だけでなく、ひと・もの・ことが交り、ビジネスの起点となるトランジットセンターをつくります。

### 取り組みMENU

- ・多様なモビリティが交錯するビジネスハブの形成 (紙屋町トランジットセンター (総面積6ha、W40m程度))  
(国土交通省が推進する「バスタ」のモデル事業に)

上段・左下: オフィス、空中庭園なども含む大規模トランジットセンター (アメリカ サンフランシスコ)  
右下: 駅と商業施設が開放的かつシームレスに接続した空間 (神奈川 たまプラーザ)



上段: photo by SergioRuiz\_https://flic.kr/p/29vYNvg

左下: SFCTA HP より引用 https://www.sfcta.org/projects/salesforce-transit-center?fbclid=IwAR1r0x1ZaRR22\_0uc-SzDBYi7VDXAvATWslOHAdl2W7T0rLloNrUqnJcC4U#panel-key-features

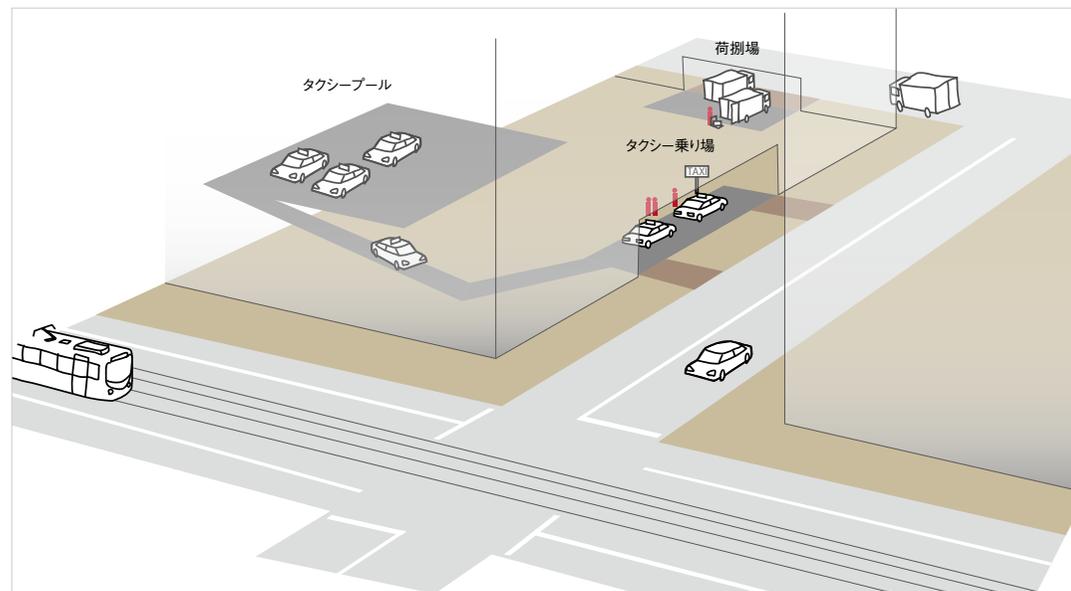
## 09. タクシーの利便性の向上

ビジネスパーソンのニーズに柔軟に応えるとともに、タクシー待機列に配慮したタクシー環境を整備します。

### 取り組みMENU

- ・大規模再開発事業においてタクシー待機場やタクシー乗り場の確保を促進。ショットガン方式の導入
- ・配車サービス（アプリ）などとの連携

タクシー ショットガン方式イメージ図



商業施設に組み込まれたタクシー乗り場。ボタンを押すとタクシーが配車される（シンガポール）



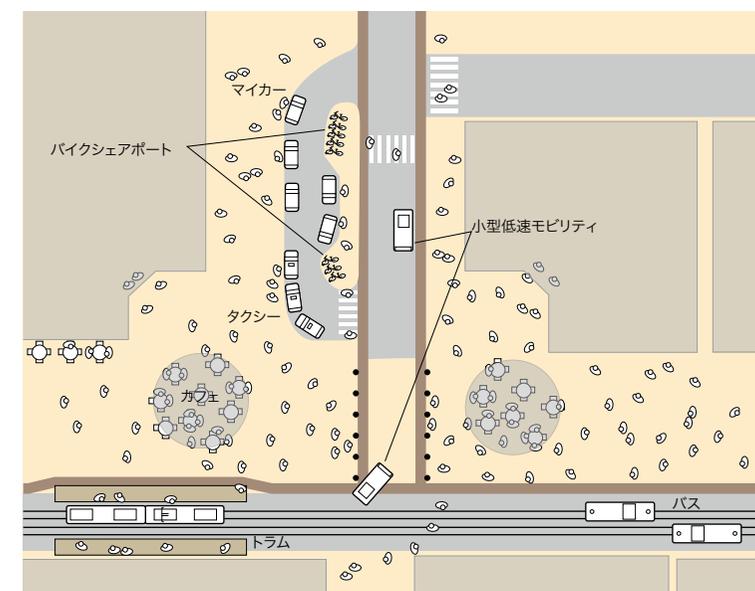
## 10. カミハチエリア循環モビリティの導入

多様な循環モビリティの組み合わせにより、これまで公共交通が行き届かなかったエリアを含めたカミハチエリア全体の回遊性を高めます。

### 取り組みMENU

- ・ストリートカーやミニバス、グリーンスローモビリティなど都心内を循環する公共交通の導入（特に南北方向の回遊行動をサポート）
- ・バスネットワーク再構築による都心内の公共交通不便エリア解消（相生通りの路線再編と平和大通り、中央通り、城南通りの路線拡充）
- ・走行したまま誰でも乗り降り可能な、超小型低速モビリティの運行
- ・モビリティプール、モビリティピックアップ & オフなどモビリティハブの整備

モビリティハブのイメージ図



最高速度 19km/h、乗車定員 22 名で池袋を循環する電気バス "IKEBUS"（東京 池袋）





## カミハチエリア モビリティネットワークイメージ

周辺からカミハチエリアへアクセスすることができる公共交通ネットワークの強化や、エリア内公共交通のシームレス化推進など、高齢者を含めた誰もがストレスフリーでアクセスできる交通環境を整えること。また、トランジットモール化を目指す相生通りでは、小型低速モビリティやパーソナルモビリティなど次世代モビリティと、従来の公共交通や歩行者が道路空間をいかに分担、共存していくのか、今後、実証実験を繰り返し実施します。さらに、持続可能な都市環境の形成を目指すという大命題のもと、バス停の滞留空間の拡張や、電停の幅なども含めたカミハチエリアのモビリティネットワークの再編を検討します。

### トラム

駅前大橋ルート開通に合わせた、更なる輸送力強化、電停再編による速達性の検討、都心の回遊性向上を目指し、LRT 平和大通り東ルート新線導入を検討します。

### 荷捌き

相生通りの北側（城南通り）と南側（平和大通り）の幹線道路を主要荷捌きルートとし、相生通りの1本北側と1本南側の通りを、東西軸として活用します。また、時間帯規制や車両用途の制限、共同荷捌き場の設置など、各事業者にとってスムーズな荷捌き環境が形成されるよう、社会実験を実施します。

### バス

現状、相生通りを幹線として、3,400便/日のバス路線が集中しているため、バス停において混雑が発生し、速達性に影響を与えています。このバス路線を段階的に相生通りの北側（城南通り）と南側（平和大通り）に分散を図ります。

### 小型低速モビリティ

現状、公共交通ネットワークの路線ではない、平和大通りと相生通りをつなぐ南北軸、相生通りと城南通りの間の東西軸を補完する形で、小型低速モビリティの運行を検討します。

# 11. イノベーターであふれる街カミハチを目指します

イノベーションの「速度」だけを追い求めるのではなく、平和の創造に寄与する、peacefulを感じられるなど、広島ならではのイノベーションの「角度」「文脈」を意識したスタートアップの卵がたくさん生まれている状態を目指すべく、地域間、文化間、世代間、業種間、セクター間の異花受粉をカミハチエリアから起こします。

## 取り組みMENU

### 1. イノベーターの定義を行い、目指すべきイノベーションの解像度を高める

カミハチキテルのイノベーターは異種混交的な形成による新しい生産様式の構築と定義し、イノベーションの敷居を下げることから始める。カミハチキテルが目指すのは「ユニコーンを生み出すことではなく、多数の市民アントレプレナーが次々生まれることである」といった核たるメッセージを発信する。

### 2. カフェ、コワーキングなどを中心としたインキュベーションを推進（カフェインキュベーション）し、イノベーションの土台となるコミュニケーション量、出会いの機会を増やす

カミハチエリアの1階に出会いの場となるカフェ空間、コワーキング空間の誘致を推進し、ストリートに開放的、寛容的な空気を醸成する。

### 3. まちかどイノベーションのステージ、まちなかりビングラボの創出

まちかどイノベーションのステージやまちなかりビングラボの創出など工場や研究室を飛び出して、イノベーション途中のプロトタイプを、まちかどから発信するための座組みとディレクション、情報発信のメディア創成を行う。

### 4. イノベーション・アンカーポイントのネットワーキング推進

企業内の研究所、リビングラボ、コワーキングスペースなど、イノベーションのアンカーポイントとなる施設のネットワーキングを行う。

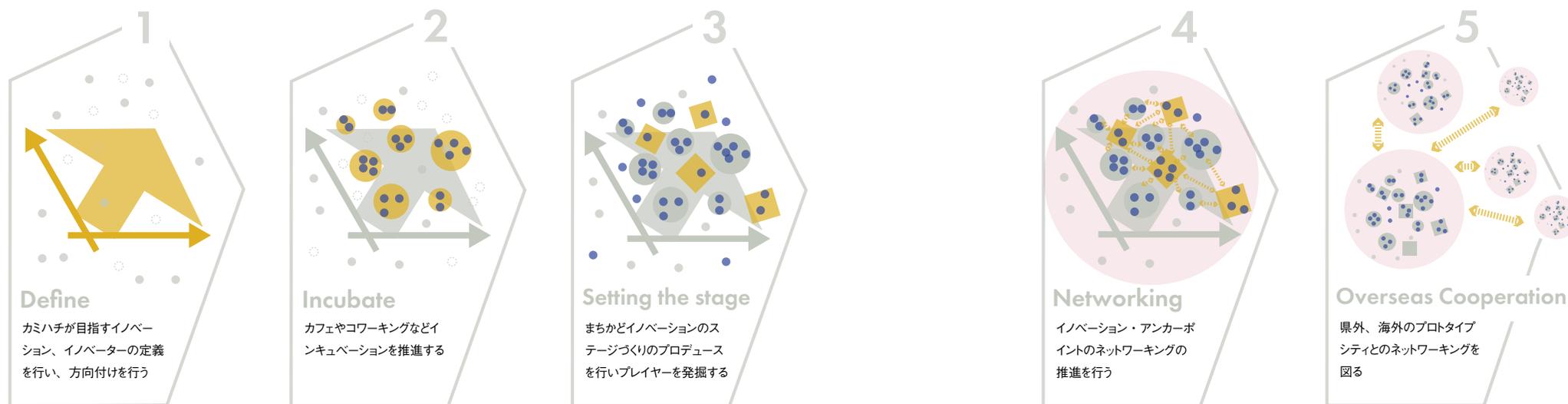
### 5. 都心とその他エリアにある企業との連携構築（地区外のビジネス連携）

JC、商店街の青年部など既存の若手ビジネスパーソンが集まる組織との連携を行うとともに、海外のプロトタイプシティ（ベルリン、アムステルダム、イスラエルなど）とのネットワーキングも企図する。



左上: photo by Murielle Gerber\_Smart Living Lab\_httpscommons.wikimedia.org/wiki/File:Pr%C3%A9sentation\_b%C3%A2timent\_Smart\_Living\_Lab.jpg  
 左下: byINTERRAILS\_httpscommons.wikimedia.org/wiki/File:St\_oberholz.jpg  
 右下: photo by ZUMA Press, Inc.

左上: 屋外でのリビングラボ実施の風景（スイスフリプフル）  
 右上: 羽田イノベーションシティ 小型無人集配システムの実験の様子  
 左下: ベルリンの老舗カフェ Sankt Oberhol はテラス席を設けることで、自然とワーカが集い、出会いが起こり、コワーキングカフェの先駆けとなった（ドイツ ベルリン）  
 右下: 3D プリンターを用いたオープンイノベーションの成果発表（スペイン バルセロナ）



# 2

## HIROSHIMA Lifestyle 戦略

緑・健康・食が馴染み、染み込むライフスタイルを創造します。

We create HIROSHIMA Life style. To unite green, health and food, we focus on sports contents, public place in neighborhood, new mobility system, pedestrian/cycle network and control of vehicles passing through the city center.

### Contents



都市空間・都市基盤  
Urban Space/Infrastructure

1. まちの緑化
2. 生活に密着した公共空間の充実



交通・モビリティ  
Transportation/Mobility

3. 新たなモビリティシステムの構築
4. 歩きやすい歩行者ネットワークの形成
5. bike-friendly な環境の形成
6. 都心への交通流入量のコントロール



コンテンツづくり  
Generating Contents

7. 日常的にスポーツに触れることができる環境づくり
8. 新たな食文化を常に作り出す広島
9. 暮らしが潤う文化的コンテンツづくり



ブランディング  
Branding

10. 都心ライフスタイルの確立

## 01. まちの緑化

寛げる緑・関われる緑・集い過ごすことのできる緑など、意図をもってまちを緑化することで、緑を身近に感じる都心生活を創出します。

### 取り組みMENU

- アーバングリーンコリドーの構築
- 川(水)と緑のネットワーク(ゾーニングコース)の構築
- オープン空間における、季節を感じ関わることのできる植栽の選定(花木や果樹、広葉樹など)
- 緑が眺められるビューポイントの設定

▶戦略 2-4 と重ねることで相乗効果を生み、戦略 4 全体の達成に近づく

相生通りは周辺エリアと比較しても緑が極めて少ない通りである



広島大学 都市・建築計画学研究室 提供

並木がアーバングリーンコリドーをつくり出す(左:東京 丸の内)(右:東京 表参道)



## 02. 生活に密着した公共空間の充実

道路空間や公園、公開空地、水辺空間などのパブリックスペースを充実させ、彩り豊かで多様なカミハチのライフスタイルを形成する起点となる場を目指します。

### 取り組みMENU

- 道路・民地のオープンスペース化(留まり、過ごすことのできる空間の確保)
- オンとオフのモードチェンジができる場所の充実(シャワー付ランニングステーション、SUPステーション、サウナ施設、パウダールームなど)
- 相生通り沿道建物の低層部をサイドセットバックさせ、南北方向へヒューマンスケールの路地空間を創出

地区計画の地区施設として整備された街区内部路(東京 丸の内)



photo by David McSpadden\_httpscommons.wikimedia.org/wiki/File:Bla\_Bla\_car\_promotion\_Paris\_25\_May\_2014.jpg

隣地からのサイドセットバックにより確保されたオープン空間(東京 丸の内)



## 03. 新たなモビリティシステムの構築

生活の足として暮らしに密着する、  
新たなモビリティシステムをカミハチで実現します。

### 取り組みMENU

- ・旧太田川・京橋川などにおける公共交通としての水上バスの運行  
(旧市民球場跡地の河川空間は水上交通ターミナルとして利用)
- ・小型無人機など空の活用に向けた環境整備 (ビル屋上に荷物配送拠点の整備など)
- ・道路や公園における次世代モビリティシステムの導入に向けた体験型社会実験の実施

道路での次世代モビリティシステムの導入に向けた体験型社会実験の実施例 (フランス パリ)



photo by David McSpadden\_httpscommons.wikimedia.org/wiki/File:Bla\_Bla\_car\_promotion\_Paris\_25\_May\_2014.jpg

水上バスの拠点整備 (東京 竹芝)



## 04. 歩きやすい歩行者ネットワークの形成

歩道を中心とした歩行者空間をネットワーク化し、  
安心して安全にどこまでも歩きたくなる都心空間を実現します。

### 取り組みMENU

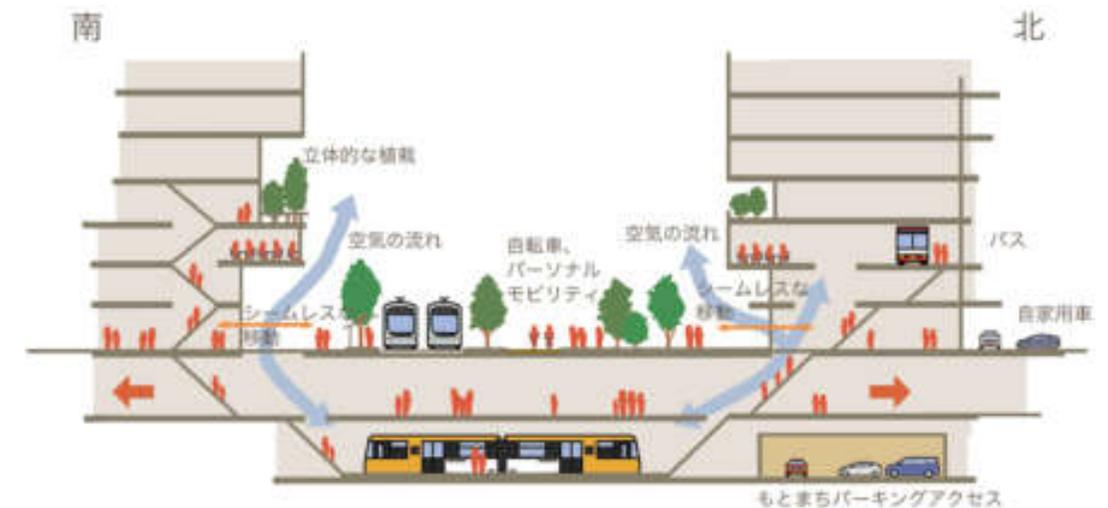
- ・エリア内歩行者優先道路の整備
  - ・歩行者優先エリアの指定
  - ・地下歩行空間を含め立体的な歩行者ネットワークを形成
  - ・歩行空間と道路空間のフルフラット化  
(水勾配等による過度な傾斜を解消しベビーカーや車いすでも快適に通行できる道路空間にする)
- ▶戦略 2-1 と重ねることで相乗効果を生み、戦略 4 全体の達成に近づく

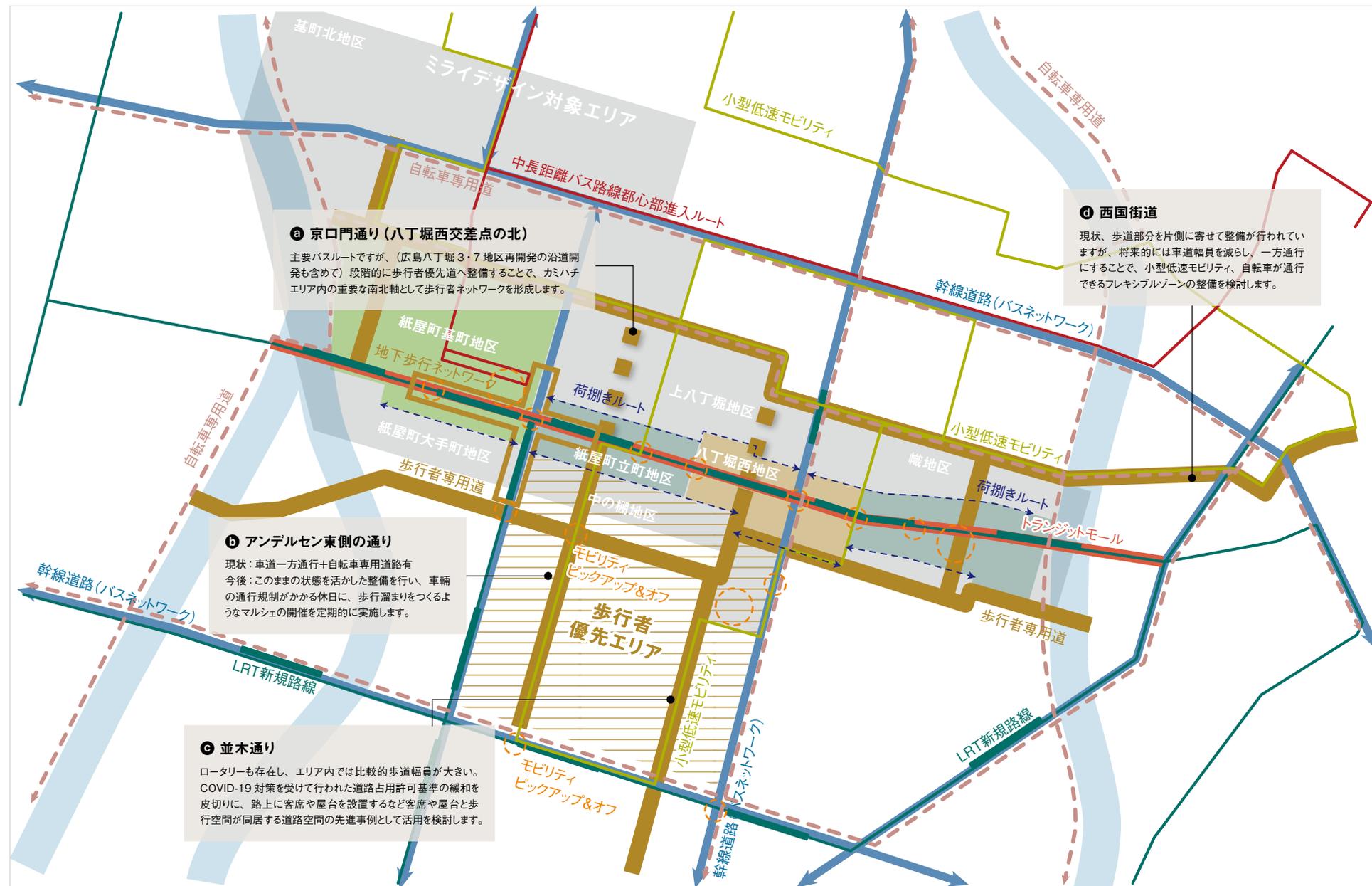
フルフラットな道路空間イメージ(カナダ モントリオール)



photo by NCNACTO\_httpsflic.kr/po49Z9X

水平かつ立体にシームレスな歩行者ネットワークのイメージ





③ 京口門通り (八丁堀西交差点の北)



⑤ アンデルセン東側の通り



⑥ 並木通り



④ 西国街道

### 歩行者ネットワークのイメージ

相生通りは段階的にトランジットモール化を目指し、500m スクエア (紙屋町交差点、八丁堀交差点、白神社前交差点、三川町交差点で囲まれたエリア) 内も歩行者優先エリアとしての整備を検討します。また、これらエリアへの歩行者動線として、東西軸としては、南側、北側ともに西国街道を軸とすること、南北軸としては、広島アンデルセン東側の通り、並木通りを軸とすることを検討します。

## 05 bike-friendly な環境の形成

通勤・通学・買い物・レジャーなどあらゆるシーンで活用できる、都心ライフスタイルに密着した自転車の利用環境を創出します。

### 取り組みMENU

- 都心サイクルハイウェイ (自転車専用道) の整備 (城南通り・平和大通り・京橋川・本川など) ※アンダーパスの整備など
- 滞在・回遊しやすい駐輪施設の適正な配置  
(附置義務駐輪場の路外駐輪場としての一般開放・短時間駐輪用の路上駐輪場の確保など)
- バイクシェアのポートの充実
- さまざまな利用シーンに対応した多様なサービスの充実  
(弾力的な料金体系・路外 / 路上への駐輪場の適正な配置など)

バイクシェアポート (アメリカ ポートランド)



都心サイクルウェイのイメージ (デンマーク コペンハーゲン)



### 自転車ネットワークのイメージ

東西軸としては、幹線道路に自転車道を整備することを検討。北は城南通りに、路面標示やピクトグラムを設置。南は平和大通りに緑地帯の活用も鑑みた上で、自転車道や、自転車通行帯の設置を検討する。相生通りについては、パーソナルモビリティとも共存し得る道路再配分の最適解を実証実験を実施したうえで検討、整備する。南北軸としては、カミハチエリアへのアクセスする動線として、西は旧太田川、東は京橋川沿いにアンダーパスの整備も含めて自転車道の設置検討も行う。エリア内の動線としては、幹線道路である中央通り、白鳥通りに路面標示やピクトグラムの設置を検討。その他細かい南北動線については、現状の路面標示やピクトグラムを使用する。

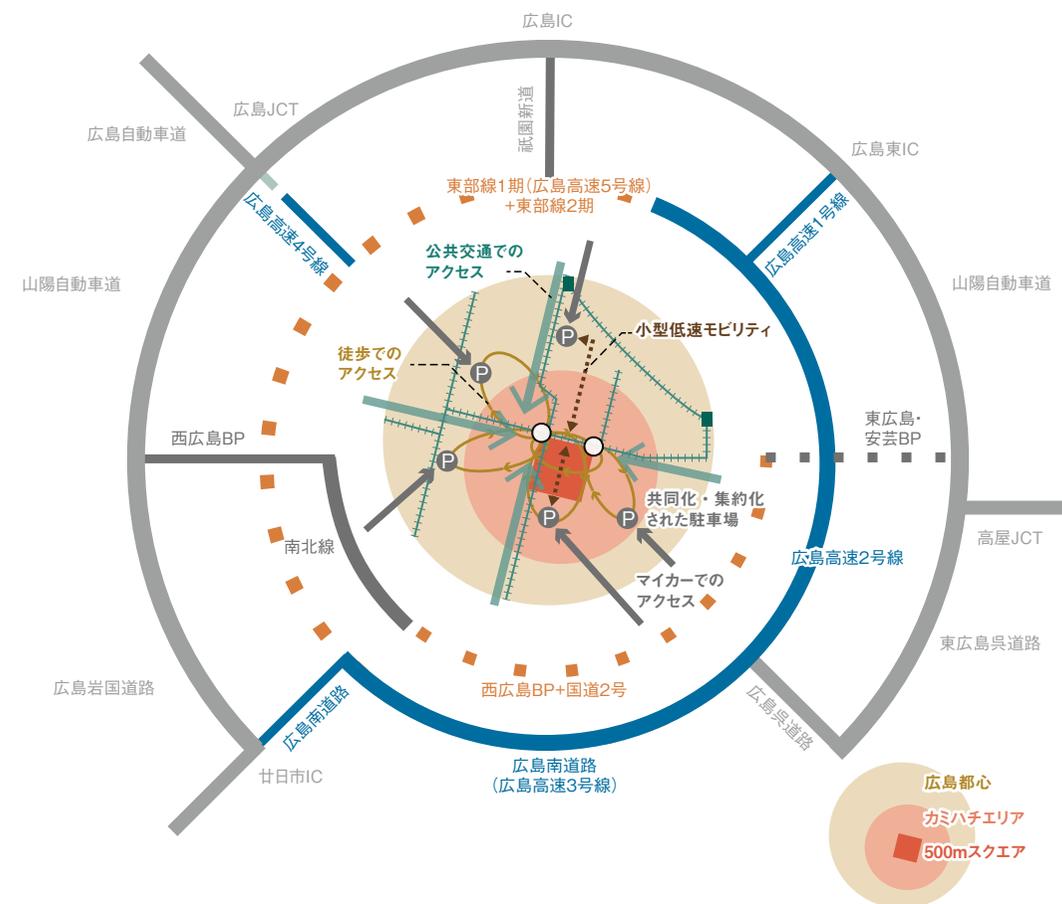
# 06 都心への交通流入量のコントロール

都心への交通流入量を減少させ、多様なモビリティと連動することで、スムーズでECOなカミハチライフスタイルを実現します。

## 取り組みMENU

- ・マイカー・カーシェアリング利用者のためのピックアップポイント整備
- ・通過交通:迂回ルートの設定 (城南通り・平和大通り・国道2号線、広島高速東部線、南北線、広島南道路)
- ・ロード(エリア)(コンジェスチョン)プライシングの推進による都心への流入交通量の抑制
- ・都市圏全体の広域道路ネットワークにおける、環状道路の整備推進
- ・区画道路への荷捌きルートの確保・ネットワークの形成(相生通りへの荷捌き車両侵入の抑制)
- ・500Mスクエア外へのフリッジパーキングの誘導
- ・駐車場附置義務の代替メニューの設定 ex) タクシー待機場 / 荷捌き場 / 駐輪場 / 隔地集約化

都市圏全体の広域道路ネットワークのイメージ



## 交通ネットワークの全体イメージ

P. 34-35、P.44-45,P.47 のネットワークイメージを重ねると上記のような交通ネットワークイメージとなる。

## 07. 日常的にスポーツに触れることができる環境づくり

日々の軽い運動からプロスポーツ観戦まで、ライフスタイルの中で日常的にスポーツに触れることができる機会を提供します。

### 取り組みMENU

- 公共空間を活用して、パルクール、スケートボード、BMXなどのストリートスポーツが気軽に出来る制度設計
- 旧太田川（本川）付近へのランニングステーション、SUPステーション設置（シャワールーム、ロッカー更衣室の完備）
- FISE（エクストリーム・スポーツ国際フェスティバル）などアーバンスポーツフェスティバルの開催
- プロスポーツチーム（広島カープ・サンフレッチェ広島）との連携強化
- スポーツ観戦できるパブリックスペースの創出（パブリックビューイングなど）



左上：キングスクロス駅付近の Granary Square ではコロナ対策を実施した上で、ウィンブルドン選手権のパブリックビューイングが実施された（イギリス ロンドン）  
 右上：社会実験カミハチキテル・MOTOMACHI CRED URBAN TERRACE- では RS BARCELONA の協力により、テーブルフットボールが実験的に設置された  
 左下：旧太田川（本川）を中心に行われている SUP の風景  
 右下：周辺のワーカ―たちが休憩に身体を動かす風景（東京 丸の内）

左上：photo by Sipa USA  
 右下：photo by RIVER DO HOW

## 08. 新たな食文化を常に作り出す広島

豊かな海と山に囲まれた都市広島。生産者、料理人、消費者（ファン）の交流から、新たな食文化を常に発信し続けます。

### 取り組みMENU

- 生産者、料理人、消費者（ファン）が定期的に一堂に会すことのできる場（キッチンスタジオ）の創出
- やさいバスなど青果流通のイノベーションの積極的受け入れ
- 広島県産のワイン、酒、クラフトビールが気軽に試飲できるスタンドの設置
- 「たべる」「つくる」「まなぶ」をキーワードにし、シェアキッチン、イベントスペース、ポップアップストアを内包した食の交流、発信拠点の設置

Borough Market では市場に隣接して料理人が旬の食材を使用するデモキッチンが日々行われている（イギリス ロンドン）



photo by Patrik Slezak



photo by 無印良品 広島パルコ

左：野菜の生産者と消費者をつなぐ新たな取り組み「やさいバス」はそごう広島店、無印良品広島パルコでの実施など広島県内でも好評を博している  
 右：社会実験カミハチキテル・URBAN TRANSIT BAY- では週替わりのクラフトビールスタンドが好評を博した

## 09. 暮らしが潤う文化的コンテンツづくり

ライフスタイルの中で日常的に文化的コンテンツに親しむことのできる機会を提供します。

### 取り組みMENU

- 公共空間や民間の空地、再開発の遊休地を活用した、音楽、本、アート、植物などをテーマにしたイベントやマーケットの定期的な開催
- HIROSHIMA DESIGN CHALLENGE で製作した什器“porta”を用いた本を介したコミュニケーションをストリートで展開するプロジェクトの推進



上：広島県主催のデザインコンペ“HIROSHIMA DESIGN CHALLENGE”で製作した什器“porta”を用いて、広島のアートから消えてしまった本屋を新たな形で実装することを企画中である  
 左下：コロナ禍の社会実験カミハチキテル・MOTOMACHI CRED URBAN TERRACE-では、大きなイベントでなく、日常の延長にある小さなイベントを数多く実施した  
 右下：社会実験カミハチキテルでは、毎回音楽の演奏を実施しているが、ワーカーの方が少し足を止めて街に身を委ねているのが印象的である

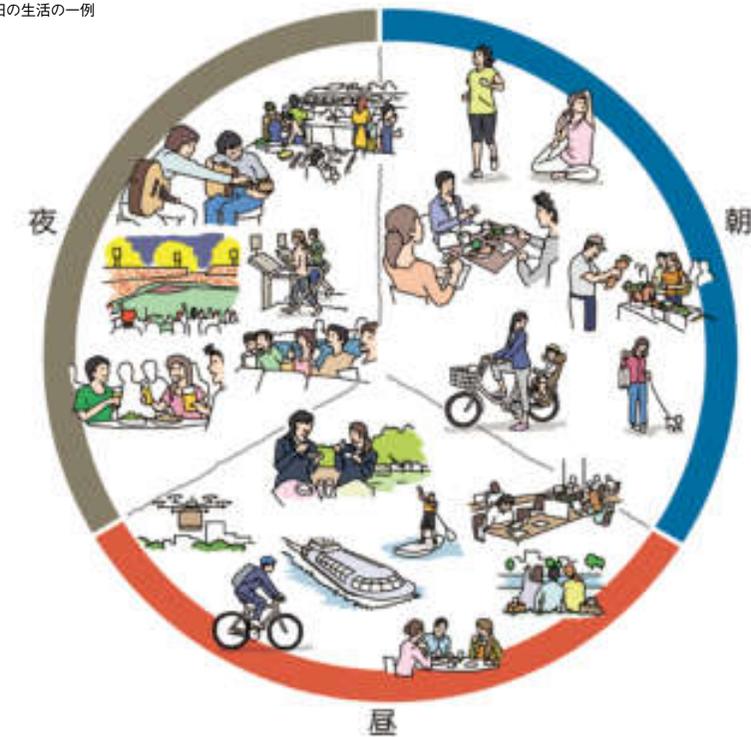
## 10. 都心ライフスタイルの確立

水や緑、文化、歴史、職住近接性などカミハチならではのライフスタイルを展開し、ブランドとして発信していきます。

### 取り組みMENU

- カミハチの都心環境を活かしたパブリックライフの推進
- 都心環境、職住近接性を活かした時間帯別の過ごし方の提案

カミハチエリアでの1日の生活の一例



カミハチエリアの移動は自転車が快適で、通勤に自転車を使う人の割合も多い。また、河川敷は快適なピクニック空間にもなる



photo by pop grumpy

# 3

## Co-creation 戦略

ひとを惹きつけクリエイティブな交流を誘発する  
コミュニケーションポイントの創出など  
多様な主体による共創社会を実現します。

Co-creation strategy achieves new society by various players. We need communication point to promote interaction of creative workers, especially planning public space in the process of urban development(Building/Park).

## Contents



### 都市空間・都市基盤 Urban Space/Infrastructure

1. 歴史の継承
2. こどもの未来を創造する都市空間の形成
3. 都市のタッチポイントの創造
4. 建物や公共空間の更新に伴うオープンスペースの確保
5. スタジアムと旧市民球場跡地、河川空間の一体的な利用
6. ストリートの性格に応じた道路空間づくり
7. スーパーブロックにおける街区内動線の形成



### コンテンツづくり Generating Contents

8. クリエイティブ人材の育成



### ブランディング Branding

9. 世界課題解決都市群（プロトタイプシティ）としてのメッセージ発信

# 01. 歴史の継承

これまで広島に累積した都市の記憶を継承し、人々の共創により発展する都市であり続けます。

## 取り組みMENU

- 歴史軸の継承（丹下軸（平和軸）を意識しながら、景観配慮やアクセス性を確保）
- ランドマークとなる都市空間の形成（ex: 胡子神社、福屋本館、八丁堀西交差点等を歩行者中心のシンボリックな空間として形成する）
- 爆心地の碑の再整備および、GROUND ZERO PLAZA の提案
- 戦前の広島に存在したような活気ある小路の再創造

左上：歴史的建築物のファサードを活かしながら、低層部に商業施設を入れて活気をつくる（スイス チューリッヒ）  
 左下：既存建物を活かした透透性あるファサードの形成（フランス ストラスブール）  
 右：丹下軸を活かした活用が行われる予定の旧市民球場跡地



左上：photo by Reiner Elsen  
 右：photo by NEW HIROSHIMA GATEPARK

# 02. こどもの未来を創造する都市空間の形成

将来のカミハチを担う子どもたちの未来を、街全体で育てる空間、プレイフルな空間を創出します。

## 取り組みMENU

- 豊かな経験・出会いを生む教育環境づくり
- 子どもが地域に関わるプログラムや環境（プレイグラウンド）の創出
- オープンスペースや、歩行者空間化されたストリートでの「遊び」や「学び」の空間の創出
- 地域に開かれたスペースを併設した、まちぐるみで子育てを行う小規模保育所や事業所内保育所の設置推進

左上：路上を活用した放課後学習サポート（アメリカ ニューヨーク）  
 右上：子どもが遊べる空間やイベントを多く実施した社会実験カミハチキテル・MOTOMACHI CRED URBAN TERRACE-  
 下段：都市の中心部の水辺空間（フランス ボルドー）



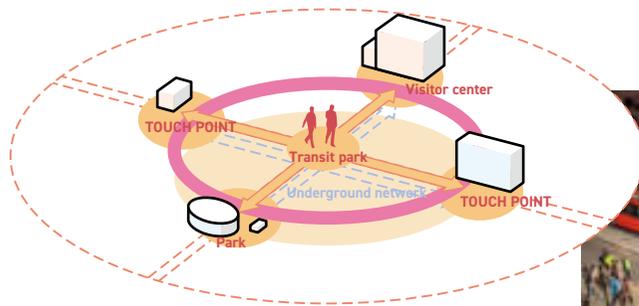
左上：photo by StreetLab

# 03 都市のタッチポイントの創造

広場や道路空間、公開空地など都市空間における多様なタッチポイントを点在させ、カミハチの回遊起点をつくります。

## 取り組みMENU

- 地下ネットワークの拡大（シャレオと沿道建物のフラットな接続（接道インセンティブの付与等））
- 歩行者が往来しやすい道路空間の整備（八丁堀交差点のスクランブル交差点化）
- エリア全体の回遊性を高めるためのタッチポイントとしての広場整備（旧市民球場跡地への広場整備）
- 公開空地の利用の見直しや民地内空地の積極活用
- 大規模なホールや図書館など、周辺部の都市機能を紙屋町八丁堀地区内の再開発プロジェクトに合わせ移転することで広域集客力を高め、新たな回遊行動の起点とする



右上：ロンドンの商業地区ウエスト・エンドの中心地の交差点は歩行者中心の空間のランドマークとして再編成されている（イギリス ロンドン）  
 左下：シアトル中央図書館はビジネス街に存在し、タッチポイントとして機能している（アメリカ シアトル）  
 右下：駅と周辺の街路を繋ぐタッチポイントとして再整備されたシンボリックな広場空間（兵庫 三宮）



右上：photo by Willy Barton.jpg

# 04 建物や公共空間の更新に伴うオープンスペースの確保

民間敷地や公共空間の柔軟で大胆な空間の変容によりオープンスペースを確保し、クリエイティブな交流を誘発させます。

## 取り組みMENU

- 事業リスクの高い現地建替を回避するための連鎖型再開発の誘導及び必要となる種地の確保（ex: 広島県庁 / 官庁エリア）
- カミハチのゲートウェイとしてのシンボリックな空間デザインとタッチポイントに相応しいビジターセンター機能を強化する（ex: 元安橋東詰、稻荷大橋西詰など）
- 沿道地権者による、民地内空地と歩道空間の一体的なマネジメントと、公共貢献を条件とした再開発事業へのインセンティブ（規制緩和・税制優遇など）付与の検討
- エリア周辺施設との共生できる機能を備え、人の多様なアクティビティや交流を誘発する、旧市民球場跡地の再構築

左上：待ち合わせ場所としても機能するアート作品（フランス ボルドー）  
 左下：神社を活かしたゲートの形成（東京 大塚）  
 右上・右中：快適なオープンスペースが交流を誘発させ、エリアの価値を高める（東京 池袋）（アメリカ ニューヨーク）  
 右下：ダウンタウンに存在するビジターセンター（オーストラリア メルボルン）



右中：photo by gillfoto\_https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/8/84/Melbourne\_Downtown\_46.jpg

## 05. 新サッカースタジアムと旧市民球場跡地、 河川空間の一体的な利用

旧市民球場跡地周辺開発をカミハチの重要なコミュニケーションポイントと捉え、周辺との一体的利用により人々の交流機会を創出する場とします。

### 取り組みMENU

- 周辺エリアマネジメント組織と連携を図り、広島縁側である河川の空間を活用した交流機会の創出を行う（音楽フェス、スポーツイベント、外飲み、SUP 教室、リビングラボなど）

上：カミハチの重要なコミュニケーションポイントとしての活用が期待される旧市民球場跡地の活用イメージ  
左下・右下：基町川辺コンソーシアム River Do How は日常の延長にある心地のよいイベントを定期的に開催している



上段：photo by NEW HIROSHIMA GATEPARK  
右下：photo by River Do How

## 06. ストリートの性格に応じた道路空間づくり

中央通り・相生通り・鯉城通り・平和大通り・本通りなどそれぞれの通りの特性に応じた空間の差別化を図ります。

### 取り組みMENU

相生通りや本通り、平和大通りなどストリートごとの特性を活かして空間とアクティビティをデザインします。

- 旧地名の復興とカミハチのイメージ強化 ex) 八丁堀銀座（八丁堀+銀座町）、紙屋町猿楽（紙屋町+旧猿楽町）
- ストリートごとのデザインコードの設定 ex) ファニチャー / 屋外広告物のルールづくり（規制緩和）
- 待ち合わせスポットやユニークベンチャーとして機能する、建築物や公共空間などのランドマーク形成
- 広告スポンサー導入などにより、パウダールームやキッズスペースを完備する高機能トイレの整備・誘導（アフターファイブのオフィスワーカーや子育て世代に優しい都心）

左上：ストリートごとに周辺地図が掲示される案内板（東京 丸の内）  
右上：ストリートの改装とともに設置された照明インスタレーション（アメリカ ミネアポリス）  
下段：ストリートの特性を活かしたクリスマス装飾（オーストラリア メルボルン）



右上：photos by John Muggenborg

## 07. スーパーブロックにおける街区内動線の形成

広場空間やプロムナードなど、街区へ人を引き込む空間を創出し、カミハチのコミュニケーションポイントとします。

### 取り組みMENU

- 街区内にまちの動線を引き込むバサージュや広場空間の計画（スーパーブロック）
- 相生通りに交わる南北ストリートとの結節空間づくり  
（八丁堀西交差点、立町電停交差点、流川通北口交差点など）
- 都市軸に合わせたプロムナードの整備（旧市民球場跡地活用）

スーパーブロックの中にまちの動線を引き込んだ HASSALO ON 8TH の開発（アメリカ ポートランド）



PLACE 提供



左：街区内通路を通し、路面店感覚を残しながら再開発が行われた有楽町イシア（東京 有楽町）

右：渋谷 PARCO 建て替えを機に、区道の廃道敷地付け替えを行い生まれた歩行者専用通路（東京 渋谷）



## 08. クリエイティブ人材の育成

これからの社会に応える新しい価値を生み続けるクリエイティブ人材を  
カミハチエリアで育てていきます。

### 取り組みMENU

- 大学のサテライトキャンパスの誘致と学生向けレジデンスの整備
- ストリートとサテライトキャンパスの空間をシームレスにし、誰でもアクセスできるパブリックスペースを増やす一方、セキュリティが必要なエリアでは ICT、顔認証などを通じてセキュリティを強化
- 大学が地域と協業する際のマッチングの推進
- 郊外に立地するメーカーなどの企業向けのミーティングスポット（来訪者への対応）や R&D 機能を備えた、ビジネスユースに対応できる、複合的ワーキングスペースの整備

左上: RMIT University では、市民が行き来できるように門を開放。キャンパス内に新しく道を通し、公共スペースを創出した結果、街のにぎわいが昼夜問わずキャンパス内に流れ込んだ（オーストラリア メルボルン）

右上: RMIT University では、地域の先住民と協力して、先住民の生活文化と歴史を私たちの実践の中核に置く取り組みを毎年実施している（オーストラリア メルボルン）

下段: 商業施設の空きテナントスペースを武蔵野美術大学の学生のショールームとして活用した産学共同プロジェクト（東京 国分寺）



左上: photo by Serge Aus\_ <https://ic.mit.edu/33120235066>

右上: photo by RMIT University\_

下段: photo by C&M

## 09. 世界課題解決都市群 (プロトタイプシティ) としてのメッセージ発信

人類史に残る悲劇を経験した都市・広島だからこそ、悲劇の継承、その先の平和の創造としての  
課題解決都市群 (プロトタイプシティ) というメッセージをカミハチから世界へ発信していきます。

### 取り組みMENU

- 原爆ドームから旧市民球場跡地および本通りへの来街者の誘導
- サステナブルフードやアップサイクルの製品など、社会課題解決に取り組むスタートアップや NPO のプロダクトを試せるスペースの常設
- 持続可能な都市づくりを体感できる公園の整備
- 広島の歴史、文脈を受け止め、変化への変容、少数派の包摂、多様性を志向するなど、プロトタイプにふさわしい都市アイデンティティの発信

上段: LGBT のキャンペーンに合わせて、景観と調和する形で広場の階段をレインボーカラーに装飾。結果的に都市としての寛容性を示すエアラブリディングとなっている（イギリス ロンドン）

左下: ベーベル広場のナチ焚書屋の記憶のための記念碑。ナチスが多くの書物を焼いた歴史を空っぽの本棚で象徴している（ドイツ ベルリン）

右下: 低炭素社会の実現を目指して設計された CIC-Zero Carbon Park は香港を目指すサステナブルのランドマークとなっている（香港）



左上: photo by Ron Ellis

右上: photo by Hans Kundnani\_ <https://ic.mit.edu/38JF6H-9T6476>

下段: photo by Wpcpey\_ [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:CIC\\_Zero\\_Carbon\\_Building\\_Overview\\_201708.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:CIC_Zero_Carbon_Building_Overview_201708.jpg)

# 4

## Sustainability 戦略

気候変動の影響が大きくなる中、それにより生じる環境悪化や災害などの急激な変化に**適応<sup>①</sup>**すると同時に、気候変動の**緩和<sup>②</sup>**にも貢献することのできる持続可能な都市を実現します。

To keep urban society going under frequent impact of climate change, strong virus and disaster, we need to build sustainable infrastructure and urban space by using wood, new energy.

① 適応策：地球温暖化等による影響を軽減するために、気候変動影響への防止・軽減のための備え新しい気候条件の利用を行うこと  
② 緩和策：地球温暖化を抑制するために、温室効果ガスの排出削減と吸収の対策を行うこと

## Contents



都市空間・都市基盤  
Urban Space/Infrastructure

### ① 適応策

1. 災害に対応する都市基盤の構築
2. 涼しい都市空間の形成

### ② 緩和策

3. 都市部の木質化
4. 再生エネルギーの拠点づくり

# 01. 災害に対応する都市基盤の構築

気候変動の影響により今後増大することが予想されている水災害などに対し、街全体で対応することのできる体制を構築します。これらの対策の多くは、地震時にも機能します。

## 取り組みMENU

- ・グリーンインフラ機能の充実化（樹木等の流出抑制・洪水抑制）
- ・河川の氾濫や浸水警戒地域等情報の提供
- ・地域単位での備えの充実
- ・有事の際の連絡体制、帰宅困難者対応
- ・備蓄等の促進を図るための容積率規制の緩和の検討
- ・買い物客、観光客、顧客などの安全な退避のための備蓄倉庫等を都市公園に設置することが計画に記載された場合、占用許可手続の迅速化を検討
- ・災害時のBCP（事業継続計画）の構築
- ・水災害時には止水板として機能する多機能ファニチャーの設置

株式会社ディーネットとiii architectsとの協業で生まれた「sisui」は、通常時はベンチやテーブルなどの多機能ファニチャーとして、有事の際は止水板として機能する。



- 左：グリーンインフラとして機能する公園緑地（雨水を一時的に貯留し、浸透させることにより洪水を抑制する）  
右：調整池の水位を知らせる照明（大雨などで水位が上昇すると赤く点灯し危険を知らせるしくみ）（柏の葉アクアテラス）



# 02. 涼しい都市空間の形成

ヒートアイランド対策を行うことで、気温が高い相生通りに夏でも過ごしやすい空間を創出します。

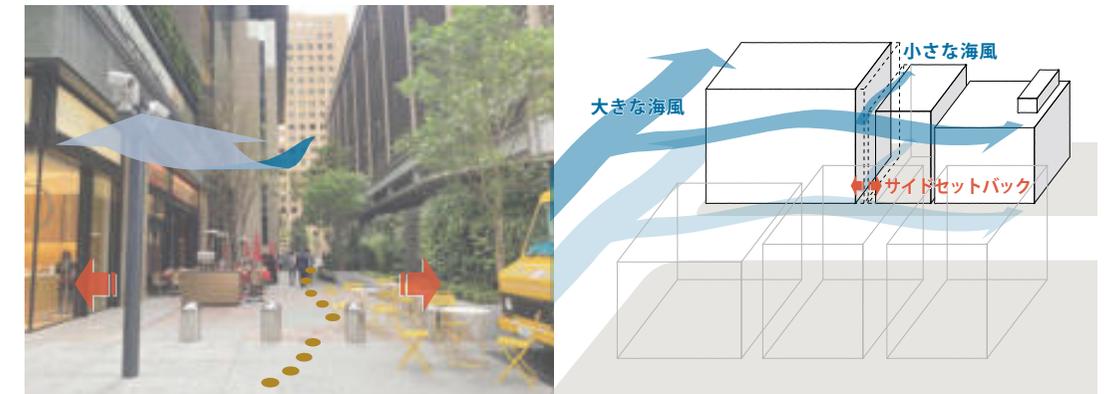
## 取り組みMENU

- ・街路樹による木陰等の日陰の形成（ex: 平和大通りの余剰な樹木の移植等）
  - ・公共空間・民間建築物の敷地等の緑化
  - ・サイドセットバックによる路地空間の創出（南北方向の風の小道（海風）の確保）
  - ・大通りの緑化による大きな風の道（海風）の確保
  - ・人々の主要動線を考慮した日陰空間の形成と街区内の小さな風の道の整備による歩いて快適な都市空間づくり
- ▶ P.76（Appendix のページ）補足資料

相生通りの熱環境改善メニュー例 / 広島大学 都市・建築計画学研究室 提供



夏に南から吹く海風を利用して、南北の街路が風の通り道になるようにサイドセットバックや壁面緑化を実施する。



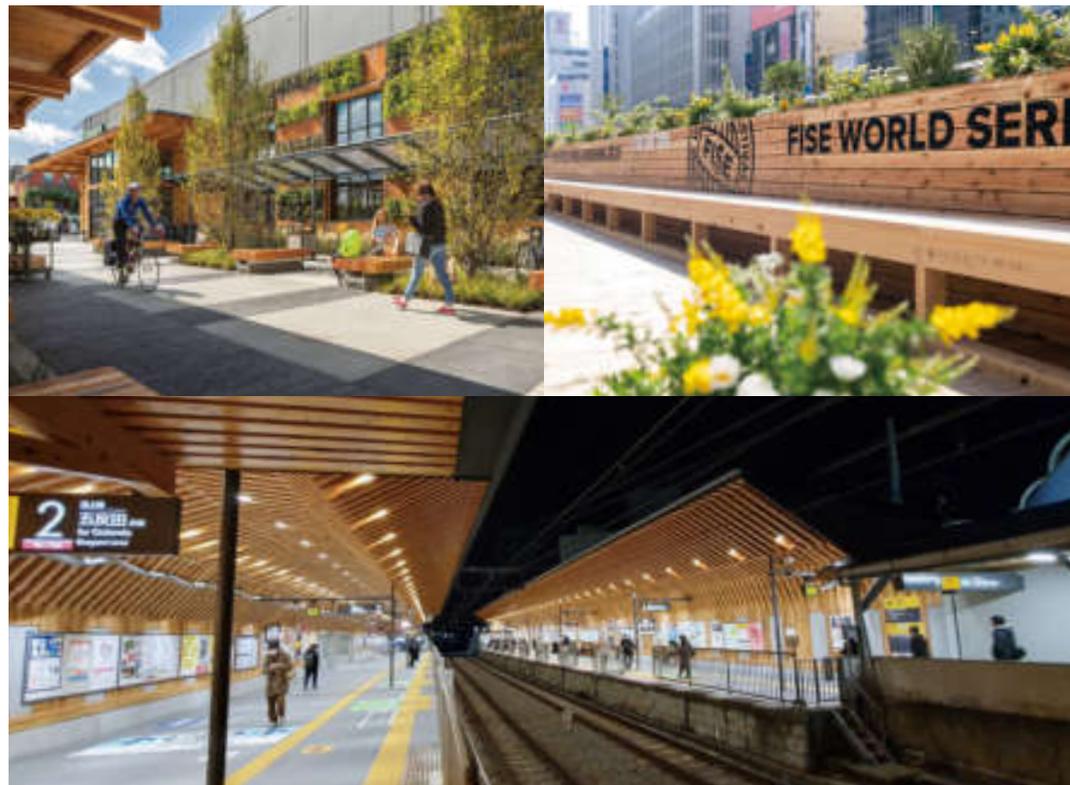
## 03. 都市部の木質化

広場や建物の低層部、ベンチ・テーブルなどのファニチャーなど都市部を木質化することで、炭素を固定するとともに都市部と森林の循環型社会を創造します。

### 取り組みMENU

- 民地の建物低層部、駅や広場など公共空間における木質化推進
- ベンチ、テーブルなどストリートファニチャーの木質化推進
- (一社) 広島県木材組合連合会と連携し、森林資源の循環利用の観点をふまえ、木材産業の川上から川下まで広島県内で一連の流れを創出する
- これまで室内空間において使われてきた「木視率」の概念を屋外空間に応用し、指標化を行う

左上: アメリカオレゴン州ポートランドの Slabtown Marketplace  
 右上: 社会実験カミハチキテルで設置した広島県産材の檜で作られたベンチ  
 下段: 東京都品川区 旗の台駅



下段: photo by Syced\_ [https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Hatanodai\\_Station.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Hatanodai_Station.jpg)

## 04. 再生可能エネルギーの拠点づくり

太陽光や風力など自然エネルギーを電力に変え、また、未利用エネルギーを利用することにより、地域内で循環するエネルギーシステムの構築を目指します。

### 取り組みMENU

- 地域や街区単位でのオフグリッドシステム構築
- 官民連携による地域エネルギー事業推進 (ex: 日本版シュタットベルケ)
- 認証制度エコディストリクトの適用を検討
- 地域熱供給や、熱も含めた面的エネルギー利用 (コージェネレーション含む)
- BCP (事業継続計画) での再生可能エネルギー利用

地域でエネルギーを融通しあうスマートグリッドのしくみ (千葉 柏)

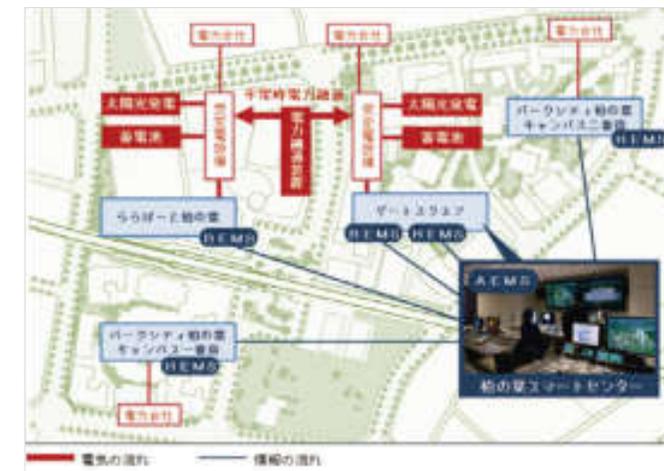
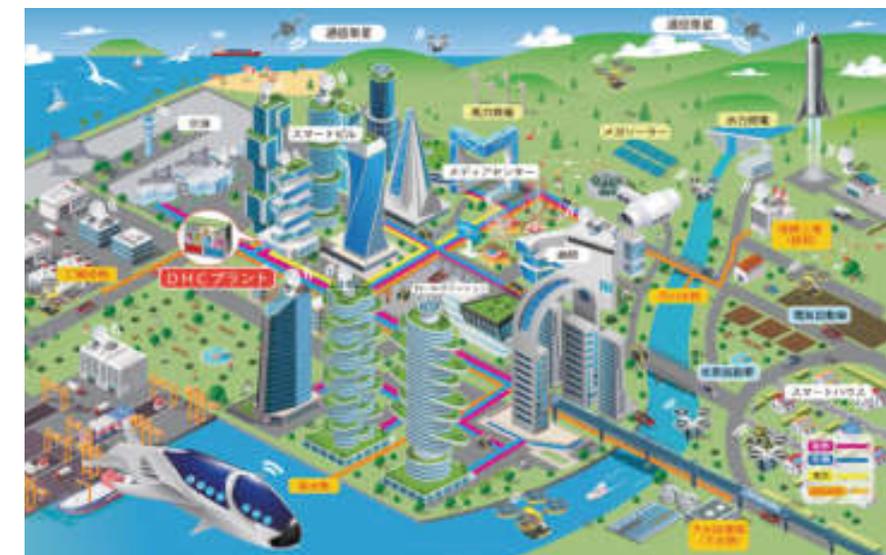


Photo by Mitsui Fudosan Co., Ltd. [https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2014/0424\\_02/](https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2014/0424_02/)



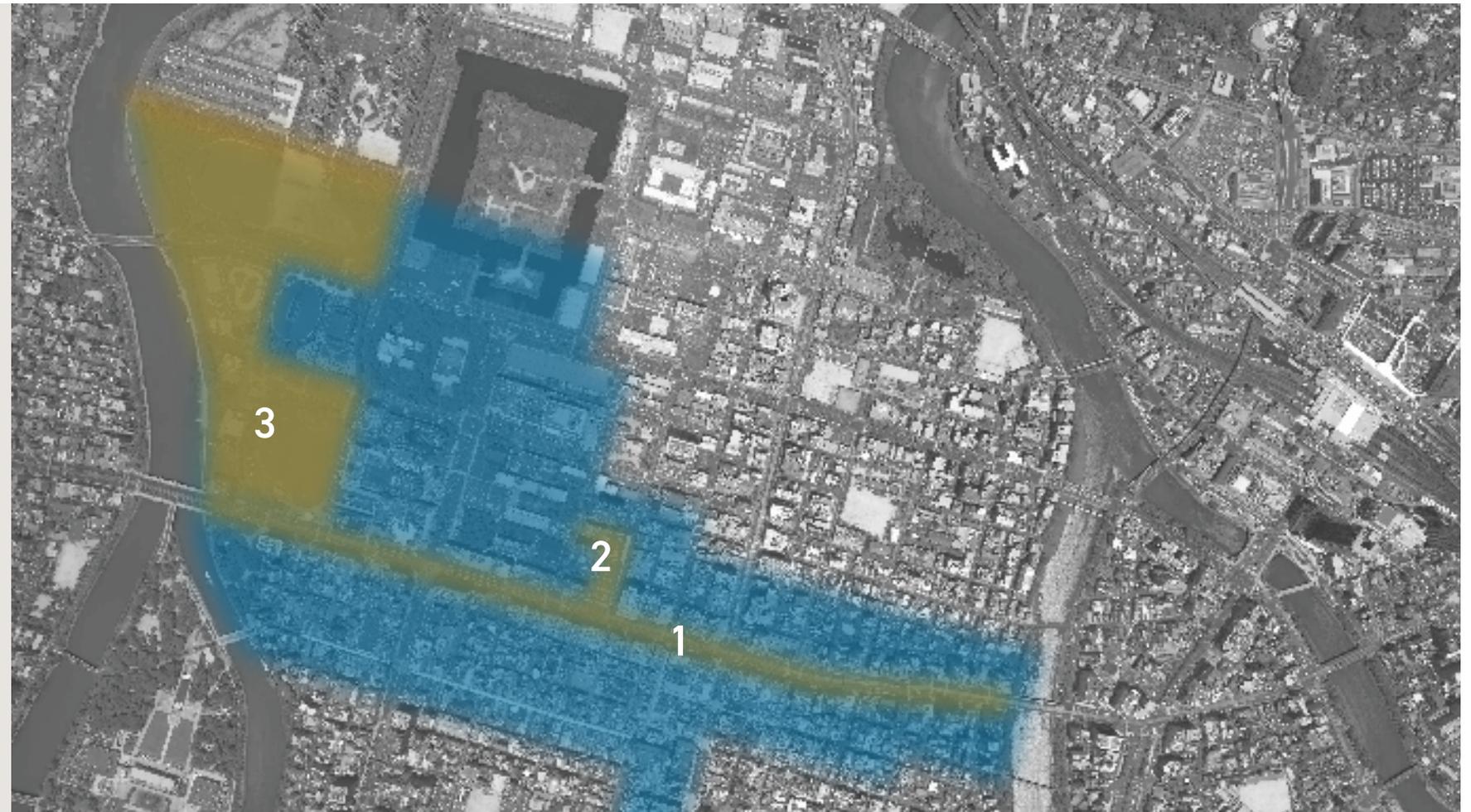
日本熱供給事業協会提供「DHC of the Future」より

## リーディングプロジェクト一覧

### Leading Project List

カミハチエリアの再生を効果的に進めるため、場所が明確化され、優先度が高いものについてリーディングプロジェクトとして取り扱います。

In order to effectively promote the revitalization of the KAMIHACHI area, those projects with a clear location and high priority will be treated as leading projects.



# 1

## 相生通りトランジットパーク化

都心の中心を支える背骨として、歩行者中心の活力溢れるみち空間を形成します。

- 路線バス・路面電車利便性の向上
- グランドレベルのデザイン誘導
- 公共空間のプロタイピング
- まちのコンベンション機能の強化
- カミハチエリア循環モビリティの導入
- 都心への交通流入量のコントロール
- 生活に密着した公共空間の充実

# 2

## 市営基町駐車場周辺再開発

相生通りに面する1階オープンスペースにおける多様な出会いと交流から、広島都心の新しい顔を形成します。

- 工事期間中の仮囲い広告の活用
- 1階オープンスペースと歩道の一体的な活用  
(ひろぎん新本店1階のオープンスペース活用との連動を検討)
- カミハチエリアの中間地点におけるタッチポイントの創出
- 市営駐輪場棟新設によるカミハチエリア内自転車アクセスの向上
- ピロティ空間創出により南北方向の海風の小道を確保し、都市空間の温度を下げる

# 3

## 旧市民球場跡地、中央公園および太田川河川敷一体活用

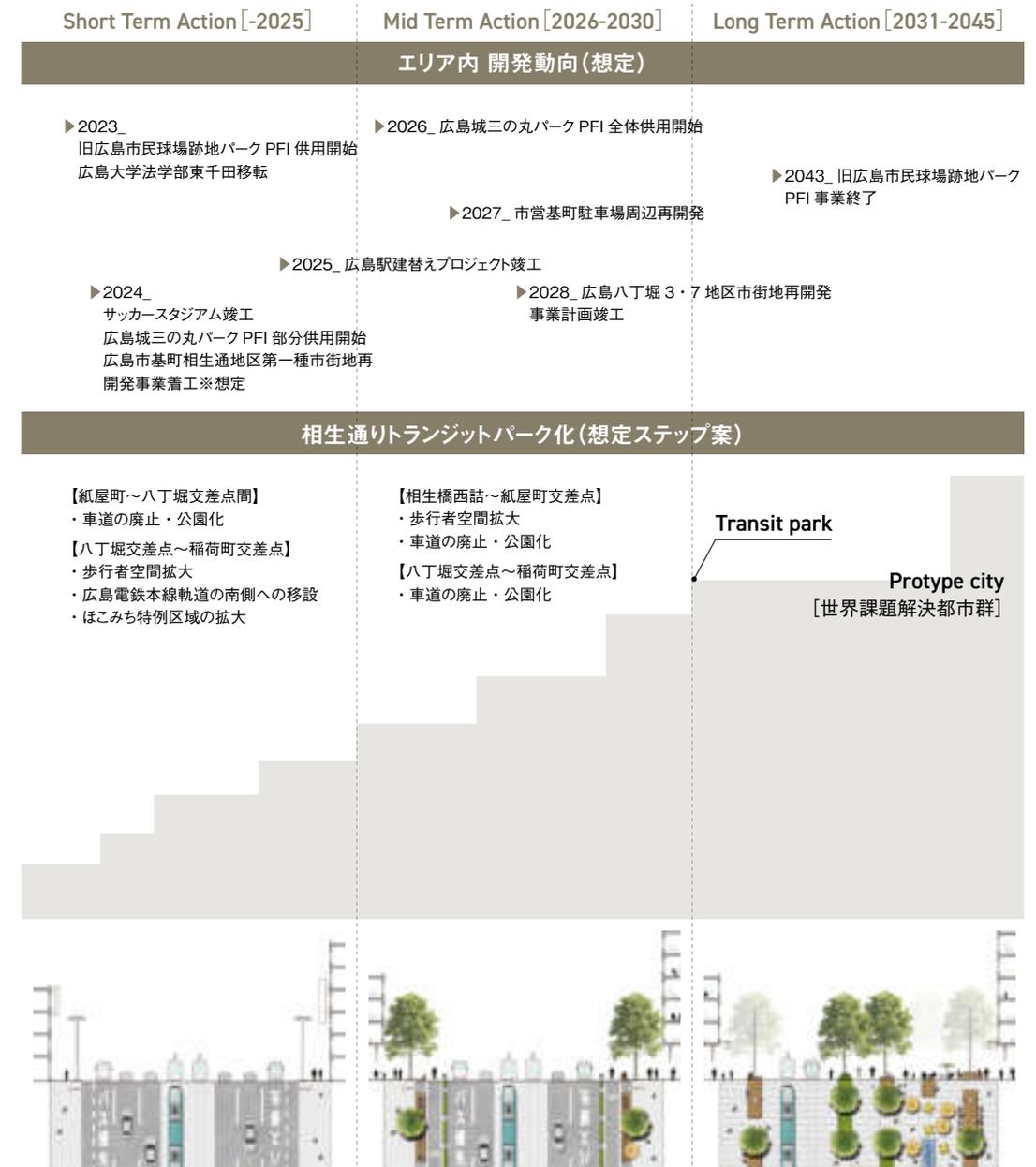
文化、交通、さまざまなアクティビティのタッチポイントであり、都心のトリガーポイントとして位置付け、都心全体の価値を高める空間形成を推進します。

- 新たなモビリティシステムの構築
- 路線バス・路面電車利便性の向上
- 新サッカースタジアムと旧市民球場跡地、河川空間の一体的な利用
- 公共空間のプロタイピング
- まちのコンベンション機能の強化
- 日常的にスポーツに触れることができる環境づくり
- 都市のタッチポイントの創造
- グランドレベルのデザイン誘導

# カミハチキテル ロードマップ asof2021/10/31

Road map

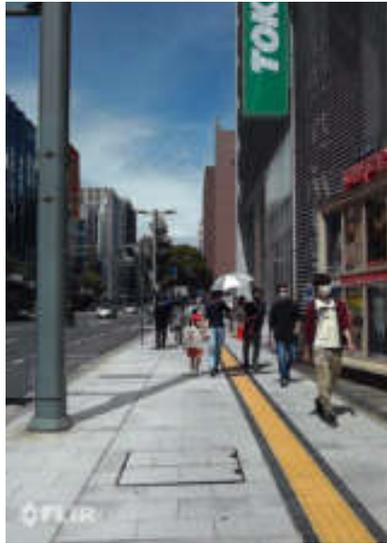
# Appendix



# Appendix

## p.69 <02. 涼しい都市空間の形成>

相生通りは道路面の温度が非常に高いことが分かる。

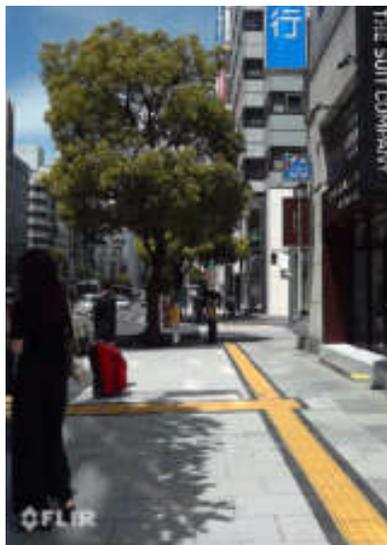


2021年8月撮影



## p.69 <02. 涼しい都市空間の形成>に書かれている取り組み MENU

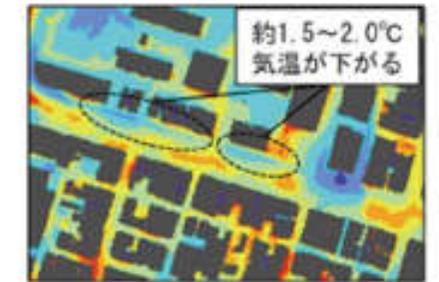
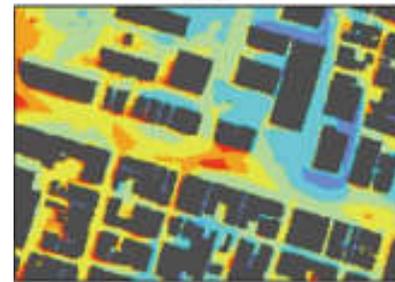
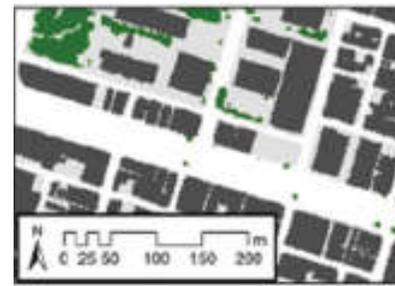
「街路樹による木陰等の日陰形成」を行った場合、どのような効果があるか。



既存の街路樹周辺の温度を計測。樹木とその下の空間の温度が低いことが分かる。  
2021年8月撮影



また、樹幹4mの街路樹と樹の下を緑化するというシミュレーションを行った場合、  
気温が約1.5℃～2.0℃下がるという結果が得られた。



# Epilogue

カミハチミライデザイン、最後までお読みくださりありがとうございます。  
さいごに…カミハチミライデザインは完成形ではありません。  
また、ミライデザインそのものには価値はありません。  
(こう思い切って書くと、制作の日々はなんだったのかと思わなくもないですが…)  
カミハチミライデザインは、ひとつのきっかけであり、はじまりです。  
ミライデザインをもとに、カミハチエリアがこうだったらいいな、  
ああだったらいいなという会話やアクションが生成されて、  
はじめて価値が生まれます。

カミハチミライデザインが  
これから街でうまれる大小さまざまなことの  
ひとつのきっかけになることを願っています。

さあ、カミハチからはじめよう

カミハチミライデザインは毎年見直しを行うビジョンではありますが、  
日々変わり続ける、文化活動、暮らし、働き方、  
そして人間同士の社会的なつながりといった  
街の機微すべてをとらえきれません。  
こうした街の密やかな動きを追いかける  
カミハチミライデザインを補完するような  
季刊のマガジンや音声メディアの創成も検討中です。

## カミハチミライデザイン -ver.0.5-

発行日 2021年10月31日  
発行 カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-  
制作 一般社団法人 地域価値共創センター  
デザイン Haruka Kuga  
バース提供 PLACE  
イラスト 画柄堂 岩見暢浩 / 谷村晃子  
touch much Creative Studio クリエイター 畑中さくら 平賀野乃香 [p.16,17]  
作図協力 田嶋麻美

## カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA- 事務局

730-0833 広島県広島市中区江波本町4-22  
🌐 <https://kiteru.site/>  
✉ [info@kiteru.site](mailto:info@kiteru.site)  
📍 カミハチキテル - heart of hiroshima -  
@kiteru

乱丁・落丁本はお取替えいたしますので、上記メールアドレスまでご連絡ください / 本書の著作権はカミハチキテル  
-HEART OF HIROSHIMA- に帰属いたします / 承諾を得ない複写・複製・転訳は禁じます / その他お問い合わせ  
は上記メールアドレスまでお願いいたします



